

官報號外

大正三年三月十八日

水曜日

印 刷 局

○第三十一回 衆議院議事速記録第二十五號

大正三年三月十七日(火曜日)午後一時八分開議

議事日程 第二十四號 大正三年三月十七日

午後一時開議

議長候補者ノ選舉

質問

一 國防ニ關スル質問(澤來太郎)

二 宗教行政ニ關スル質問(金尾義嚴)

三 本願寺事件ニ關スル質問(金尾義嚴)

四 本願寺疑獄事件ニ關スル質問(君提出)

五 海洋ノ調査及研究ニ關スル質問(小西和)

六 海軍查問會ニ關スル質問(君提出)

七 判事及檢事ノ休職並判事ノ轉所ニ關スル質問(小林勝民)

八 権太現行漁業制度ニ關スル質問(森田小六)

九 米價調節ニ關スル質問(加賀卯之)

十 犯罪少年取締法制定ニ關スル質問(加藤喜逸君)

十一 新聞紙ノ發賣禁止ニ關スル第三質問(齊藤隆夫)

十二 政府ノ新領土經營ノ主義方針及臺灣陰謀事件ニ關スル再

十三 答辯ニ關スル第三質問(小林勝民)

十四 對米問題ニ關スル再質問(石橋爲之)

十五 學制ニ關スル質問(林毅陸)

第一讀會

第一 國庫出納金端數計算法案(政府提出)

第二 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第三 肺結核療養所ノ設置及國庫補助ニ關ス

ル法律案(政府提出)

第四 印紙稅法中改正法律案(中小路與平治)

第五 印紙稅法中改正法律案(三谷勲秀君)

第六 運河法中改正法律案(齋藤珪次君)
第七 奈古浦丸ノ所有者救恤ニ關スル法律案
(請願委員長提出)

第八 國有土地森林原野下戻法中改正法律案
(伊藤祐一君)
(請願委員長提出)

第九 不動產登記法中改正法律案(三谷軌秀)
(請願委員長提出)

第十 裁判所構成法及辯護士法ヲ臺灣ニ施行スルノ法律
案(松田源吉君)
(請願委員長提出)

第十一 明治三十九年法律第三十一號中改正法律案(松田源
君外四名提出)

第十二 行政裁判法及訴願法ニ關スル法律ヲ臺灣ニ施行ス
ルノ法律案(松田源吉君)
(請願委員長提出)

第十三 酒造稅法中改正法律案(三輪市太郎君)
(請願委員長提出)

第十四 朝鮮產ノ牛革並其ノ革製品ニ對シ移入稅免除ニ關
スル法律案(小出五郎君)
(請願委員長提出)

第十五 醫師法中改正法律案(福井三郎君)
(請願委員長提出)

第十六 高層氣象觀測所設置ニ關スル建議案(根本正君外
一名提出)

第十七 殉難義勇者旌表ニ關スル建議案(武市麻太君)
(請願委員長提出)

第十八 帝國衛生行政ノ統一施設ニ關スル建議案(黒須龍太君)
(請願委員長提出)

第十九 薈造物設置ノ補償制度制定ニ關スル建議案(濱田政壯君)
(請願委員長提出)

第二十 小額生命保險官營ニ關スル建議案(君提出)

第二十一 四國幹線鐵道豫定線速成ニ關スル建議案(光森德治君)
(請願委員長提出)

第二十二 長崎港ニ於ケル海陸連絡設備三關スル建議案(永見寛二君)
(請願委員長提出)

第二十三 關門海峽連絡鐵道建設ニ關スル建議案(外九名提出)
(請願委員長提出)

第二十四 埼玉縣下比企郡川島領六箇村田畠地價特別修正ニ關ス
ル建議案(柏谷義三君)
(請願委員長提出)

第二十五 上越鐵道建設ニ關スル建議案(高津伸次郎君)
(請願委員長提出)

第二十六 羽越沿岸鐵道建設ニ關スル建議案(佐藤信古
君外十一名提出)
(請願委員長提出)

鐵道建設ニ關スル建議案委員會

委員長 中倉 万次郎君 理事 吉原 正隆君

三國港護岸施工ニ關スル建議案外二件委員會

委員長 井上 角五郎君 理事 吉原 正隆君

支那ニ於ケル同仁會事業ニ關スル建議案委員會

委員長 丸尾 光春君 理事 濱田 政壯君

去十六日兩院協議會議長及副議長互選、結果左ノ如シ

大正三年度歲入歲出總豫算案兩院協議會

議長 伊藤 大八君 副議長 改野 耕三君

（左ノ質問書ハ朗讀ヲ經サルモ参照ノタメ茲ニ掲載ス）

軍法會議ノ公開及辯護權上訴權ニ關スル質問主意書

右成規ニ據リ提出候也

大正三年二月七日

提出者 花井 卓藏

贊成者 尾崎 行雄

外三十人

軍法會議ノ公開及辯護權上訴權ニ關スル質問主意書

政府ハ第二十四回帝國議會ニ於テ陸軍刑法案海軍刑法案並其ノ施行法案ヲ本

院ノ議ニ付スルニ當リ本員ノ質問ニ對シ第一軍法會議ノ公開シ第二軍法會議ノ審

判ニ辯護人ヲ付シ第三軍法會議ノ判決ニ上訴ノ道ヲ開クヘキ旨ヲ言明シ憲法ノ條

規ニ則リ裁判ヲ公開シ刑事訴訟法ノ原則ニ遵ヒ辯護權上訴權ヲ認ムルノ必要ヲ體

シタリ本員ハ政府力能ク其ノ言責ヲ重ムシ案ヲ具シ法ヲ立テ裁判ノ神聖ヲ保チ軍事

法律ノ改善ヲ期スヘキコトアルヲ信シタリ爾來五星精未タ其ノ法案ノ提出アルヲ見ス

依テ本員ハ更ニ左ノ諸點ニ關シテ政府ノ所信ヲ問ハムトス

一 陸軍治罪法海軍治罪法ノ改正ヲ爲スニ當リ軍法會議ノ公開シ辯護權上訴

權ニ關スル規定ヲ設クルノ必要ハ今仍之ヲ認ムルヤ

二 陸軍治罪法海軍治罪法ノ改正會議ハ既ニ之ヲ開始セリヤ

改正會議開始セラレタリトセハ其ノ組織權限及即今進行ノ程度ハ如何

三 軍人以外ノモノヲシテ改正會議ニ列セシムルノ必要ハ之ヲ認メサルカ

四 海軍軍人收賄事件ハ重要問題トシテ中外ノ環視スル所トナレリ治罪法中一部ノ改正ヲ行ヒ軍法會議ノ公開シテ事件ノ真相ヲ天下ニ明ニシ中外ノ疑惑ヲ解クニ意ナキヤ

（参考）

一 憲法ハ第五十九條ニ於テ裁判ノ對審判決ハ之ヲ公開スト規定セリ

一 刑事訴訟法ハ原則トシテ辯護權上訴權ヲ認メタリ

一 裁判上ノ關係ハ軍人タルトヨリテ輕重アルヘカラス

一 軍事法廷ヲ公開シテ辯護人ヲ付シ又其ノ判決ニ上訴ヲ許スハ各國ノ法制率ネ然リ

一 軍艦海軍大臣寺内陸軍大臣ハ第二十四回帝國議會ノ委員會竝本會議ニ

國防ニ關スル質問主意書
右成規ニ據リ提出候也

大正三年三月四日

提出者 澤來太郎

贊成者 岩岡伊代治
外三十三人

國防ニ關スル質問主意書

一 隆海兩相ノ責任ハ單ニ國防上既定計畫ノ遂行ニ要スル豫算ノ要求若ハ裁定ヲ爲スニ止マリ之カ基礎タル計畫上ノ責任ニハ與リ關セサルモノナルカ

二 國防ノ方針並ヒニ伴フ計畫ナルモノハ陸軍ニ於テハ參謀本部、海軍ニ於テハ軍

令部ニ於テノミ企畫スルモノニシテ陸海兩相ハ之ニ參與セサルモノナルカ

三 國防計畫ノ遂行上財政其ノ他ノ關係ヨリ内閣ノ意見ト參謀本部若ハ軍令部ノ計畫ト兩立セサル場合ニ際セハ陸海兩相ハ孰レニ去就スヘキヲ相當ナリ思

惟スルカ

四 國防計畫ナルモノハ國家生存ニ關スル絕對的ノ問題ニシテ全ク政治圈外ニ屬

スルモノトスレハ時ニ或ハ財政其ノ他ノ問題ト調節スル能ハサル場合アリトスルモ

超然トシテ強行スルノ優越權アルモノト思惟セサルヲ得ス當局者ノ所見果シテ

如何

五 國防計畫ナルモノハ作戰上ノ全責任ヨリ打算スルモノナルヘシト雖特ニ外交財

政ト密接不離ノ關係ヲ有スル勿論ナルヲ以テ少クトモ外相並藏相ハ當然之ニ參

與セサルヘカラサルモノト思惟ス當局者ノ所見果シテ如何

六 惟フニ所謂國防計畫ナルモノハ作戰部即チ陸軍ニ於テハ參謀本部、海軍ニ於

テハ軍令部ニ於テ企畫スルモノトスレハ全ク政治圈外ニ超然タリ然レトモノ之ニ要

スル國防費ニ對シテハ政治圈内即チ内閣ノ同意議會ノ協賛ヲ經ヘキモノナルヲ

以テ勢ヒ計畫ノ內容ヲ明示セサルヘカラサルモノト信ス陸海兩相ノ所見果シテ

如何

七 本員カ第二十二回議會ニ於テ「國防ノ方針計畫如何」トノ質問ニ對シ政府ハ

「軍事ノ機密ニ屬スルヲ以テ開示スルヲ得ス」ト答辯シタリ然ルニ現ニ今期二月

十四日貴族院本會議ニ於テ議員江木千之君ノニ箇增師計畫ニ關スル質問

ニ對シ陸相ノ所答中增師計畫ノ內容ヲ説明シテ曰ク「本年度末ヨリ大正五年

ニ及ヘ西伯利亞方面ニ於ケル鐵道輸送力ノ狀況ニ大ナル變化アルベキ」ヲ斷

言シ更ニ輸送力ノ增大スヘキニ言及シ尙進ムテ「輸送力ノ増大ハ即チ假想敵ノ

滿洲方面ニ於ケル其ノ集注力ヲ激増セシム是レ増帥ノ必要アル所以ナリ」と言
明シタルハコレ明ニ國防計畫ノ内容ヲ公示シタルモノト認メサルヲ得ス果シテ然
ラハ國防計畫ノ祕密ナルモノハ單ニ衆議院ニ對シテノミノ祕密ナルカ若然ラスト
セハ何故ニ第三十回議會ニ於ケル本員ノ質問ニ對シテハ其ノ内容ヲ明示セサリ
シカ
九 若公會ニ於テ漏洩スヘカラサルモノヲ漏洩シタリトセハ當局者ハ當然其ノ責ニ任
セサルヘカラサルモノト信ス當局者ノ所見果シテ如何又止ムヲ得シテ開不シタ
リトセハ何故ニ之ヲ祕密會ニ付スルコトヲ爲ササリシカ
十 明治四十二年度末海軍省所管横須賀海軍經理部ニ於テ御德炭購入ニ際シ
當時尙半箇年分ノ使用數量即チ三百一十一噸ノ在庫品現在セシモ拘ラヌ更
ニ四百五十噸即チ八箇月分以上ニ相當スル使用數量ヲ購入シテ同年ノ豫算
ヲ以テ翌四十三年度分ニ使用シタル事實ニ對シ當局者豫算外違法支出ニア
ラスト思惟スルカ

十一 當局者ハ陸海各工廠内ニ於ケル物品ノ購入及不用品ノ拂下等ニ關シ吏商
相結託シテ種々ノ醜關係ヲ醸シ且行ヒツツアル事實ヲ認メ居ルヤ否

十二 第三十回議會ニ於ケル本員ノ質問（國防ニ關スル件）第二十二項中第十
八項ニ限り答辯ヲ與ヘサリシ理由如何

十三 陸軍ノ演習時ニ際シ往々農作物ニ多大ノ損害ヲ與ヘナカラ偶々被害者ノ申
告ナキニ於テハ之ヲ知ルモ願ミス或ハ民家ニ宿泊ヲ強請シ或ハ數時間公道ヲ遮
断スル等人權ヲ蹂躪スルコト屢ナルコト耳ニス當局者ハ一層之ヲ戒飭スルノ
意思ナキカ又此ノ事實アルコトヲ認メ居ルヤ否

右及質問候也

宗教行政ニ關スル質問主意書
右成規ニ據り提出候也
大正三年三月七日
提出者 金尾 稜嚴 贊成者 高木益太郎

贊成者 高木益太郎
外三十八人

宗教行政ニ關スル質問主意書
一政府ハ神佛各宗派ニ對シ宗教行政上監督ノ責ニ任スルカ
一政府ハ宗教行政ノ監督上前項各宗派ノ管長ニシテ若不都合ノ行爲アルトキハ之
ヲ免黜スルノ權能ヲ有スルカ
一真宗本願寺派管長大谷光瑞ハ從來宗務ヲ疎外シ寺法ヲ蹂躪シ特ニ國法ヲ無
視シ大日本慈善財團並本末共保財團ノ基金ヲ横領費消シタルハ明確ノ事實ナ
リ政府ハ尙之ヲ不問ニ付スルカ
一前項ノ事實ニ關シテハ同寺役僧數名已ニ起訴セラレタリト雖其ノ罪惡ノ根本ハ
彼レ管長大谷光瑞ナルコト門末ハ勿論社會公衆ノ認ムル所ニシテ役僧ノ徒ハ唯
其ノ指揮ヲ仰キタルニ過キス縱令役僧等ノ行爲ニ止マリ管長毫モ之ヲ干知セサリ
シトスルモ抑々社會道義ノ源泉タルヘキ本山ニシテ此ノ疑獄ヲ惹起スルニ至リ而モ

宗教行政ニ關スル質問主意書
右成規ニ據り提出候也
大正三年三月九日
提出者 金尾 稲嚴 贊成者 石田仁太郎
外三十七人

宗教行政ニ關スル質問主意書
本願寺事件ニ關スル質問主意書
右成規ニ據り提出候也
大正三年三月九日
提出者 金尾 稲嚴 贊成者 石田仁太郎
外三十七人

管長責ヲ負テ引退セス政府之ヲ罷免セス恬然管長ヲシテ社會ニ翱翔セシメ政府
ハ尙一派ノ歸齋ヲ維持シ社會道德ヲ裨補シ得ト思惟スルカ
一特ニ管長大谷光瑞ハ所奉ノ宗旨ニ忠實ナラス剩ヘ役僧等ヲ指揮シ投機事業ヲ
敢テシ其ノ結果負債山積シ傳來ノ什寶物ヲ鬻キ遂ニ一派本山ノ財政ヲ紊亂シタ
リ如此人格卑劣ノ管長ヲ以テ政府ハ尙一派管理ノ任ニ堪ヘ得ルト思惟スルカ
一右本山宗務ノ腐敗財政ノ紊亂ヲ救治セム爲改革ヲ主張シタル末寺僧侶ヲ濫ニ
奪度牒、罷教師、免住職等ノ處分ニ付シタルニ依リ右等處分ヲ受ケタルノ徒ヨリ
管長不當處分取消ノ請願ヲ主務大臣ニ提出シタリト聞ク政府ハ之ニ關シ管長ニ
對シ不當處分取消ヲ命スルカ
右及質問候也

本願寺疑獄事件ニ關スル質問主意書
右成規ニ據り提出候也

大正三年三月九日
提出者 金尾 稲嚴 贊成者 石田仁太郎
外三十七人

本願寺疑獄事件ニ關スル質問主意書
一本年二月初旬本願寺疑獄事件ノ將ニ起訴セラレムトスルニ際シ京都地方裁判
所檢事正竝檢事兩名大阪ニ出張シ改革主唱者タル岡道亮、眞野寂默、八木將
曉ヲ召喚シ檢事正ハ右三名ニ對シ
本事件ハ愈々起訴スヘシ然レモ法主ニ及ハサル範圍ニ於テ起訴スヘシソレニテ
ト開ク依テ本員ハ右事實ノ真否ヲ確メタルニ滋賀縣愛知郡稻村字薩摩眞野寂
默ヨリ郵書ヲ以テ御尋ノ通ニ候、檢事ノ姓名ハ
檢事正 佐藤春樹
同 平山正祥
同 末松正行

宗教行政ニ關スル質問主意書
本願寺事件ニ關スル質問主意書
右成規ニ據り提出候也
大正三年三月九日
提出者 金尾 稲嚴 贊成者 石田仁太郎
外三十七人

宗教行政ニ關スル質問主意書
本願寺事件ニ關スル質問主意書
右成規ニ據り提出候也
大正三年三月九日
提出者 金尾 稲嚴 贊成者 石田仁太郎
外三十七人

立憲制度ヲ設立セシムトシ改革ヲ主張シタル滋賀縣愛知郡稻村字薩摩善正寺住職真野寂默ニ對シ管長大谷光瑞ハ罷教師、免住職ノ處分ヲ爲シタルニ依リ右真野寂默ハ其ノ處分ニ服セス大正二年六月内務大臣宛管長不當處分取消ノ請願書ヲ提出シタリ然ルニ同年十一月十日文部大臣ヘ稻村役場ヲ經由シ詮議

ニ難及旨ヲ以テ右書面ヲ却下シタリ
政府ハ真野寂默ニ對スル本願寺派管長ノ處分ヲ以テ正當ノ處分ナリト思惟スルカ
果シテ正當ノ處分ナリト思惟セハ其ノ理由如何

一右真野寂默ハ其ノ後更ニ奪度牒ノ處分ニ處セラレタレトモ固ヨリ管長ノ處分ハ悖理非法ノ甚シキモノナルカ爲同寺門徒一同亦管長ノ處分ニ服セス故ニ葬儀年忌等ノ佛事ヲ悉ク真野寂默ニ依嘱シ依然同人僧侶タリシ時ト同一ノ待遇ヲ爲スニ至レリ然ルニ大正三年一月二十六日滋賀縣愛知川警察署署長西澤猛獅ハ真野寂默ヲ召喚シ僧衣ヲ著シ又ハ葬儀等ノ佛事ヲ營ムヘカラスト職權ヲ以テ嚴重ニ説諭ヲ加ヘタリ

本員等未タ曾テ我カ帝國ノ法律勅令乃至警察處罰令等ニ於テ僧侶ニ非サル者僧衣ヲ著スヘカラス僧侶ニ非サル者葬儀等佛事ヲ營ムヘカラストノ禁令ヲ一讀シタルコトナク且右等信嚮上ノ行爲何等國家ノ秩序社會ノ安寧ニ危害ナキニ拘ラス右警察署長ハ如何ナル職權ノ下ニ此ノ如キ干涉ヲ敢テシタルカ警察權濫用ノ最甚シキモノナリト信ス政府ノ所見如何

右成規ニ據り提出候也
海洋ノ調査及研究ニ關スル再質問主意書

大正三年三月九日

提出者 小 西 和

贊成者 高木 益太郎

外三十八人

海洋ノ調査及研究ニ關スル再質問主意書

一 海洋ノ調査及研究ニ關スル質問ニ對シ山本農商務大臣ハ現在農商務省及海軍省三於テ之カ調査及研究ヲ爲シツアリト答辯セリ政府ハ如上ノ調査及研究

ヲ以テ帝國ノ狀況及世界ノ趨向ヨリ見て遺憾ナシト信スルカ
國民ニ對シテ海洋ニ關スル智識ヲ與ヘ其ノ趣味ヲ高ムルノ策ヲ講シ且海洋發展ノ思想ヲ鼓吹シ之カ實行ヲ促進スルハ帝國ノ位置、現狀及世界ノ趨勢ニ鑑ミ極メテ必要ニシテ急務ナルヲ覺ニ政府ハ之ニ對シテ從來殆ト何等ノ手段ヲモ講セサルニ非サルカ且政府ハ此ノ點ニ付テ遺憾ナシト認ムルカ

三 海洋ニ關スル國民ノ智識及趣味ヲ養ヒ且國民ニ向ヒテ海洋發展ノ思想ヲ鼓吹シ其ノ實行ヲ促進スルハ極メテ必要又急務ナリト認ム政府ハ此ニ付テ如何ナル所見ヲ有スルカ

四 海洋調查機關設置ニ關スル建議案ハ第三十回帝國議會ニ於テ殆ト満場一致ヲ以テ本院ヲ通過シ直ニ政府ニ建議セリ政府ハ此ノ建議ニ對シテ如何ナル

處置ヲ取リタルカ

五 海洋調査機關ノ設置ニ關シ本院ノ建議シタル以來既ニ一年ヲ經過セリ政府ニ於テ若未タ何等ノ施設ヲ爲サストセハ其ノ理由如何

右及再質問候也

海軍查問會ニ關スル質問主意書
右成規ニ據り提出候也

大正三年三月九日

提出者 黒須 龍太郎

贊成者 岩崎 安次郎

外八十九人

海軍查問會ニ關スル質問主意書

一 本年二月二十日頃海軍查問會ハ「シーメンスシユッケルト」會社贈賄事件ニ關シ海軍軍令部長海軍大將伊集院五郎及吳鎮守府長官海軍中將松本和ヲ查問スルコトニ決定シ同月二十一日松本中將ニ上京ヲ電令セリトノ事ナルカ事實果シテ如何
二 第一ノ事實ト同時ニ東京地方裁判所檢事局ハ海軍省ニ對シ前記伊集院大將松本中將及海軍大臣海軍大將齋藤實ノ有罪證據書類ヲ送付シ來リタル由ナルカ事實果シテ如何
三 第一、第二ニシテ事實トセハ右三名ニ對スル處分ノ經過如何
四 齋藤海軍大臣ハ二月二十一日突然議會ニ於テ查問會ヲ閉鎖セル旨ヲ報告セルカ閉鎖ニ付查問委員ニ對シ何等協議ヲ爲サス議會ニ報告セル後ニ於テ初メテ查問委員ニ閉鎖ノ旨ヲ通知セリトノ事ナルカ事實果シテ如何若事實トセハ政府ハ何故ニ斯ク急遽查問會ヲ閉鎖セルカ

右及質問候也

判事及檢事ノ休職並判事ノ轉所ニ關スル質問主意書

右成規ニ據り提出候也

大正三年三月十日

提出者 小林 勝民

贊成者 岩崎 安次郎

外九十八人

判事及檢事ノ休職並判事ノ轉所ニ關スル質問主意書

一 政府ハ大正二年法律第七號判事及檢事ノ休職並判事ノ轉所ニ關スル法律ヲ施行スルニ際シ如何ナル方針ニ準據シテ之ヲ爲セシヤ

二 判事及檢事ニ休職ヲ命シ若ハ依願休職ノ手續ニ出テシメタル銓衡淘汰ノ標準ハ如何

右及質問候也

樺太現行漁業制度ニ關スル質問主意書
右成規ニ據り提出候也

大正三年三月十日

提出者 森田 小六郎

贊成者 岩下 清周

外二十九人

新聞紙ノ發賣禁止ニ關スル第三質問主意書

一 樺太漁業ノ現状及其ノ將來ニ對スル政府ノ方針如何
 二 北海道ニ於テハ重要魚族漁獲ノ爲ニ二綱制度ヲ採用セルニ樺太島ニ於テ特ニ
 一綱制度ヲ固執スル理由如何
 三 現行樺太島漁業制度施行ノ結果難漁民ハ困第ヲ極ムト云フ之ニ對スル救濟
 法如何
 右及質問候也

米價調節ニ關スル質問主意書

右成規ニ據リ提出候也

大正三年三月五日

提出者 加賀 卵之吉

賛成者 岩崎 安次郎
外八十九人

米價調節ニ關スル質問主意書

米價調節ト稱シ現政府ノ採レル政策ハ徒ニ米價ヲ低落セシメ生産者ヲシテ多大ノ
 苦痛ヲ感セシムルカ如キ實蹟アリ農商務大臣ノ之ニ對スル所見如何
 右及質問候也

大正三年三月十一日

提出者 加瀬 祐逸 高野 金重
賛成者 岩下 清周
外二十人

犯罪少年取締法制定ニ關スル質問主意書

犯罪少年ハ勿論不良少年及放浪少年ノ取締ヲ嚴ニスルノ必要アルハ世上既ニ定
 論ノ存スル所ニシテ最近十年以來歐米諸國ニ於テハ之ニ關スル法令ヲ布キ其ノ機
 請ヲ設備スルニ汲々タリ省ミニテ之ヲ本邦ノ現状ニ徵スルニ此ノ種ノ少年ハ日々逐ヒ月
 ヲ累ヌルニ從ヒ漸次增加シ社會ニ害毒ヲ流シツツアルハ諸般ノ統計上並日常ノ經驗
 上寔ニ明白ナル所、今ニシテ之ヲ等閑ニ付セムカ社會ノ危險將ニ測知スヘカラサルモノ
 アルニ至ラムトス事態既ニ然リトセハ速ニ之ニ關スル法制ヲ設ケ此等少年ノ嚴重ナル
 取締ヲ實施スヘキハ焦眉ノ急務ナルコト言ヲ俟クサルナリ然ルニ政府カ今ニ至ル迄此
 ノ樞要ナル施設ニ關シ何等ノ提案ヲ爲サル理由如何
 開ク所ニ依レハ政府ハ本期帝國議會ニ之ニ關スル法律案ヲ提出スルノ計畫ヲ爲シ
 ツアリト云フ果シテ此ノ如キ計畫アリヤ若其ノ計畫アリトセハ其ノ提出ノ時期如何
 右及質問候也

新聞紙ノ發賣禁止ニ關スル第二質問主意書

右成規ニ據リ提出候也

大正三年三月十一日

提出者 齋藤 隆夫

賛成者 岩崎 安次郎
外九十八人

右及質問候也

海軍收賄事件查問ニ關スル質問主意書

右成規ニ據リ提出候也

大正三年三月七日

提出者 田中 善立 八田 裕二郎

賛成者 岩下 清周
外二十三人

海軍收賄事件查問ニ關スル質問主意書

一 該查問委員會ノ權限ハ獨リ「シーメンス」事件ノ查問ノミニ止マラス頗ル廣義ナ
 ル意味ニ解釋スヘキモノナリシト聞ク果シテ然ル乎

二 藤井少將ヲ收監セラレタルハ「シーメンス」事件ニ關係ナク同少將カ英國「ヴィッ
 カース」造船會社ト永久的ナル或契約ヲ結ヘル文書ノ發見セラレタルカ爲ナリト
 仄聞ス右ハ果シテ事實ナルヤ

澤崎大佐ノ收監セラレタルハ一月七日ニシテ藤井少將ノ收監セラレタルハ夫
 ヨリ八日ヲ過ギタル十五日午前ナリ此ノ一事既ニ兩者ノ關係ノ大ニ異ナレル
 コトヲ推測スルニ難カラズ而シテ奧田法相ノ言明ニ依レハ十五日ハ即チ海軍
 官憲カ司法官憲ヨリ藤井少將ニ關スル一件書類ノ送付ヲ受ケタル日ナリ若
 少將ニシテ「シーメンス」事件ニ關係アルモノトセハ少クトモ澤崎大佐ト同時又
 ハ相前後シテ收監セラルヘキモノト信スヘキ理由アリ
 二月十八日松本村上兩中將ノ家宅搜索ハ檢事局ト查問會トノ交渉ノ上ニテ斷行シタルモノナ
 リト云フ果シテ然ルカ

六 松本村上兩中將ノ家宅搜索ヲ爲スニ先チア當局者ハ之ヲ兩中將ニ豫報シタル
 カ爲遂ニ證據ヲ埋滅スルニ至レリト傳フルモノアリ當局者ハ果シテ之カ豫報ヲ爲
 シタルコトアリヤ
 七 松本村上兩中將ノ家宅搜索ヲ行ヒタル前後ニ於テ查問委員會ハ兩中將ヲ查
 問セシヤ否書面ヲ以テ查問スルヲ得ルノ規定ナレハ或ハ此ノ方法ヲ以テ查問シ
 タルモノト認ムルカ事實如何

八　查問委員會カ一月下旬突如トシ閉鎖ヲ命セラレタルハ東京地方裁判所ヨリ送付セラレタル一件書類中ニ齋藤伊集院兩大將ノ關係セル旨記載シアリシ爲ナリト言フモノアリ又一説ニハ右一大將ヲ查問スルカ如キコトハ查問會ノ權限外ニ屬スルヲ以テ出羽委員長個人トシテ海軍大臣ニ面接協議スル所アリ其ノ結果急遽查問會ヲ閉鎖スルニ至リタルモノナリト傳フ右ノ事實如何

九　若前項ノ如キ理由ヲ以テ查問會ヲ閉鎖セルニ非ストセハ當局者ハ何故ニ尙同

會ヲ存置シテ海軍ノ廓清ヲ圖リ一ハ以テ究極スル所ナキ世人ノ疑惑ヲ釋クヘタ

努力セサリシヤ

十　山本大將及山内中將ノ致富ハ多年世人疑惑ノ焦點トナリ而モ其ノ富ト海軍ノ製艦其ノ他ハ離ルヘカラサル關係アルモノノ如ク公說セラレツツアリ故ニ今回

ノ如キ收賄問題ノ勃發セルニ當リテハ當局者ハ一面海軍廓清ノ爲一面其ノ主腦者タル山本大將ノ雪冤ノ爲最明白ナル手段方法ヲ講シテ世人ノ疑惑ヲ氷解セシメサルヘカラス然ルニ查問會ノ糾尋ノ此處ニ及ハサリシハ如何

十一　當局者ハ光輝アル帝國海軍ノ面目ヲ一新スル爲メ更ニ權威アル查問機關ヲ設置スルノ必要アリト認メサルヤ如何

前掲第六項ノ質問ニ對シテ「松本村上兩中將ヲ查問セシコトナシ」トノ答辯ヲ得ハ

則チ司法大臣ニ向テ左ノ事項ヲ問ハムト欲ス

十二　家宅搜索ハ本人又ハ第三者ノ犯罪ニ關スル證憑ヲ押收セムカ爲ナリ松本村上兩中將ノ家宅搜索カ假ニ第二ノ犯罪ニ關スル必要ニ基キタルモノトスルモ既ニ之ヲ行ヒタル以上犯罪ト兩中將トノ間ニハ何等カノ關係アルニ相違ナシ果

シテ然ラハ此ノ場合海軍官憲ハ當然兩中將ヲ查問スヘキ筈ナルニ遂ニ此ノ舉ニ出テサリシナリ斯ク海軍官憲ノ認メテ以テ毫モ查問ノ必要ナシト斷シタルカ如キ

薄弱ナル根據ニ基キテ司法官憲ハ何故ニ苟モ名譽アル大官ニ對シテ忌マハシキ

家宅搜索ヲ行ヒタルヤ其ノ事由如何

右及質問候也

右ニ對シテハ別ニ質問演説ヲ爲サ候ニ付速ニ御答辯相成度候也

衆議院議長長谷場純孝君薨去ニ付弔詞ヲ呈スル件

○副議長(關直彦君)　諸君(拍手起ル)本職ハ茲ニ再び悲痛ニ堪ヘテ御報告ヲ致サネバナラヌ事ニナリマシタ、本院議長長谷場純孝閣下ハ、一昨十五日俄ニ薨去セラレマシタノデゴザイマス、諸君御承知ノ通り、閣下ハ第一回ノ總選舉以來、毎回ノ選舉ニ當選セラレマシテ第十二回、第十四回議會ニハ全院委員長ニ、第二十五回議會ニハ議長ニ舉ヶラレ、最モ公平ニ最モ誠實ニ其職責ヲ完ウセラレタルコトハ、諸君ノ御記憶ニ新ナル所デアリマス、今回大岡氏ノ補闕トシテ大患後ニ拘ラズ閣下ヲ推薦シタルハ、事局ノ困難ナル閣下ヲ以テ議場ヲ整理スルニ最モ適當トセラレタルノデアリマス(拍手起ル)閣下平素人事ヲ盡シ天命ヲ疾ソノ覺悟アリ、薨去ノ前日マテ病軀ヲ提ケ劇務ニ膺ラレタルハ、實ニ感嘆措ク能ハサル所デゴザイマス(拍手起ル)顧フニ憲政ノ爲ニ身ヲ殉スルハ、男兒ノ本分ニハ相違ハゴザイマセヌガ、這般ノ選舉が閣下ノ天命ヲ縮メタルコトヲ思ヒマスベ、實ニ悚然クラザルヲ得ナイノデアリマス(拍手起ル)我衆議院ハ開設以來會期中斯カル不幸ニ遭遇シマシタノハ初メテゴザイマス、依テ君ノ葬式當日ニ

ハ休會ヲ致シマシテ敬弔ノ意ヲ表シ、且最モ鄭重ナル哀悼ノ文ヲ識決シテ之ヲ靈前ニ捧ケント欲スルノデゴザイマス、茲ニ本職ノ手許ニ於キマシテ草案ヲ作ツタノガゴザイマスルカラ、之ヲ朗讀シテ御参考ニ供シマス、幸ニ滿場ノ御贊成ヲ得マスレバ光榮ノ至リト存シマス(拍手起ル)

衆議院ハ帝國議會開設以來常ニ議席ニ列シ再度議長ノ職ニ勤勞セラレタル衆議院議長從三位勳二等長谷場純孝君ノ薨去ヲ哀悼シ本院ノ決議ヲ以テ恭シク弔詞ヲ呈ス

(拍手起ル)

○副議長(關直彦君)　滿場御異議ガゴザイマセヌカ

(「異議ナシ」と呼フ者アリ)

○副議長(關直彦君)　御異議がナイト認メマシテ、滿場一致ノ決議ヲ以テ可決シタルコトニ取計ヒマス(拍手起ル)是ヨリ議長候補者ノ選舉ヲ行ヒマス

議長候補者ノ選舉

○副議長(關直彦君)　選舉ノ方法ハ先例ニ依リマス、投票ハ無記名デアリマスルカラ、諸君ノ御手許ニ配付致シマシタル投票用紙ヘ候補者ニ一名ヲ記載シ、木札ノ名刺ヲ添ヘテ必ず御持參アランコトヲ希望致シマス、是ヨリ氏名點呼ヲ始メマス

○副議長(關直彦君)　投票票漏ハアリマセヌカ——投票票漏ハナイト認メマス——投票函ノ閉鎖——開鎖ヲ命シマス

(書記氏名ヲ點呼ス)

○副議長(關直彦君)　投票票漏ハアリマセヌカ——投票票漏ハナイト認メマス——投票函ノ閉鎖——開鎖ヲ命シマス

(書記官投票及名刺ノ數ヲ計算ス)

○副議長(關直彦君)　投票票漏ハアリマセヌカ——投票票漏ハナイト認メマス——投票函ノ閉鎖——開鎖ヲ命シマス

(林田書記官長朗讀)

投票總數二百五十、名刺ノ總數之ニ適フ、過半數百七十六

(津久井書記官投票ヲ讀上ク)

○副議長(關直彦君)　ソレテハ諸君ニ御諮リ致シマス、投票中ニ議院ノ神聖ヲ害スベキ戯レノ投票ガ數票アリマス、斯ルモノハ諸君ノ面前ニ披露スルサヘモ面白カラヌト思ヒマスルガ、此種ノ投票ハ假令其殘部中ニ如何ナルモノガアリマシテモ、其投票ガ戯レデアリマスルカラ、全部無効トスルト云フコトニ致シテハ如何デス

(「ヒヤー」と聲起ル)

○副議長(關直彦君)　ソレテハ採決ヲ致シマス

(「採決ニ及バズ」と呼フ者アリ)

(「發表ヲ願ヒマス」「報告ニ及バズ」と呼フ者アリ)

○副議長(關直彦君)　ソレテハ採決ヲ致シマス

(「採決ニ及バズ」と呼フ者アリ)

○副議長(關直彦君)　小河源一君ノ御説ハ、戯レノ分ヲ除イテ眞面目ナダケノモノハ有效ニスルト云フ御説デアリマス

○小河源一君 左様アリマス
○副議長(關直彦君) 採決致シマス、小河源一君ノ說ニ同意ノ諸君ハ起立ヲ願ヒ
マス

起立者 少數

○副議長(關直彦君) 少數アリマス

○林毅陸君 甚ダ神聖ラ演ス投票ガアッタ云フコトデアリマスガ、ソレハ發表ニナラナ
イ限リハ、ドウ云フモノデアッタカト云フコトハ分ラヌノアリマス、故ニ議長ガ一人デ御
認メニナッテ、一人テ葬リ去ルト云フコトハ疑ガ懸リマス、故ニ議場ニソレヲ御報告ニナ
ルガ……

〔報告ノ必要ナシ〕議長ニ一任スベシ其他發言スル者多シ

○副議長(關直彦君) 現ニ發表スルサヘモ餘リ侮辱シタ文字ガアリマスカラ、發表致
サナイノアリマス

○齊藤隆夫君 其投票ガ何カ安寧秩序ヲ紊ルトカ、風俗ヲ害スルトカ云フモノデアレ
バ免モ角、然ラズベ……

〔議場中私語スル者多ク聽取スル能ハス〕

○副議長(關直彦君) 議員ニ對シテ、侮辱ノ發言ガアルノダゴザイマバ

○〔ドウ云フ侮辱デス〕「無用々々」報告ノ必要ナシ」「議長ハ公平グ」其他發言
マシタカラ採決ヲ致シマシテ、少數アリマスカラ發表シナコトニ決定致シマシタ

〔ヒヤー〕ト呼フ者アリ拍手起ル

〔公平々々〕「政友會以上ノ横暴ナル議長ダ」ト呼フ者アリ笑聲起ル

○副議長(關直彦君) 投票ノ結果ヲ御報告致シマス

〔議長々々〕「無用々々」「分ラヌ」「無用トハ何ダ」「靜肅ニ願ヒマス」ト呼フ者
アリ

○阪本彌一郎君 議長——議長ハ發言ヲ御許シニナラヌカ

○副議長(關直彦君) 今投票ノ結果ヲ報告スルト云フコトヲ宣告致シマシタカラ

○小河源一君 チヨット投票ノ採決ニ付テ議長ニ伺ヒタイ

〔無用々々〕ト呼ヒ又「議長ハ生意氣ダ」ト呼フ者アリ

○阪本彌一郎君 チヨット伺ヒマスガ、「何ヲ言フノダ」ト呼フ者アリ投票ノ猥亵デアル

猥亵アナイト云フコトハ、是ハ普通ノ常識ニ於テ判断シ得ルモノアリマスガ、併ナガラ其
投票ヲ初メカラ單ニ議長ノ常識ノミニ依テ判断ヲサレテ、投票ノ内容ト云フモノヲ御示

シニナラズ、ソレガ有效テアルカ無效テアルカト云フコトヲ御説リニナラズ、此投票ハ假ニ
猥亵ノモノト致シマスレバ、若クハ侮辱ノ意味ノモノト致シマスレバ、廢棄ニ相成ルト致シ

マシテモ宜シウゴザイマスガ、將來其例ヲ以テ横暴ナル議長ハ是ハ不都合ナ投票デアル、
議會ノ神聖ヲ演スモノデアル〔無用々々〕ト呼フ者アリトシテ廢棄シタナラバ惡例ヲ啓ク

モノアリマスカラ、議長が如何ナル方法ヲ以テモ此議場内ニ起ツタ事柄ナラバ、起ツタ
事柄ニ付テ公表ヲシテ衆議ニ諮ラナケレバナラヌ、單ニ此投票ガ侮辱ニ瓦ルトカ、或ハ猥
亵ニ瓦ル投票デアルトカ云フ議長ノ常識ノミヲ以テ御判断ニ相成ツテ、其結果ヲ議場ニ
御説リニナラヌデハ、議場ガ……ガナイデハナイカ……

〔「無用々々」分ラヌ分ラヌ〕「必要ナシ」ト呼フ者アリ議場騒然聽取シ難シ

○副議長(關直彦君) 静肅ニ願ヒマス——議會ノ決定ヲ經タノアリマスカラ

〔「サウダサウダ」「ヒヤー」拍手起ル〕

○阪本彌一郎君 議長々々

〔「無用々々」「ヨセー」「ト呼フ者アリ〕

○阪本彌一郎君 ヨセー、チャナイ

〔「無用々々」又ハ「傍聴人ヲ退場セシメテ發表スベシ」ト呼フ者アリ〕

○阪本彌一郎君 投票ノ内容ヲ示サズシテ有效アルカ無效アルカ無效アルカ無效アルカ
無效アルカ無效アルカ投票ヲ〔採決スベシ〕「無用々々」ト呼フ者アリ議場騒然)無效
ニナル内容ヲ示サズ、而シテ其投票ガドウ云フモノアルト云フ事柄ヲ議場ニ詰ッテ採
シナ投票ガ無効アルカ投票ヲ〔採決スベシ〕「無用々々」ト呼フ者アリ議場騒然)無效
ナケレバナラヌデハアリマセヌカ、單ニ議長ノ常識ニ依テ判断ヲスルノハ、ドウシテ無効アル
カ有效アルカト云フコトヲ判断ノシヤウガナイデハナイカ

〔「無用々々」「静肅ニ」「亂暴ヲ極メテ居ル」ト呼フ者アリ議場騒然〕

○小河源一君 已ムヲ得ズンハ祕密會ヲ開イテモ公表ヲ願ノ

〔「議長ハ公平グ」「議長ニ一任スベシ」ト呼フ者アリ〕

○副議長(關直彦君) 御靜カニ願ヒマス、阪本君が強イテ御主張ニナリマスレバ、祕
密會ヲ開イテ發表スルコトニ致シマス

〔「必要ナシ」「反對」「當然グ」「異議アリ」ト呼フ者アリ〕

○副議長(關直彦君) 採決ヲ致シマス

〔「採決濟グ」「採決濟ミデナイ」「採決スベキモノデハナイ」「議長ノ權能グ」ト呼フ
者アリ〕

○副議長(關直彦君) 阪本君ノ說ニ御同意ノ諸君ハ起立ヲ願ヒマス

〔「分リマセヌ」ト呼フ者アリ〕

○副議長(關直彦君) 祕密會ヲ開イテ發表スルノニ贊成ノ諸君ハ起立ヲ願ヒマス

〔「議長ノ權能グ」「當然スベキコトダ」「イヤ採決」ト呼フ者アリ〕

○副議長(關直彦君) モウ一遍宣告致シマス、祕密會ヲ開イテ發表スルト云フコトニ、
御同意ノ諸君ノ起立ヲ願ヒマス

○副議長(關直彦君) 少數

〔拍手起ル〕

○副議長(關直彦君) 少數アリマス

○津末良介君 議長々々——議長——發言ヲ求メマス——發言ヲ求メマス

○津末良介君 議事ノ進行ニ付テ

○副議長(關直彦君) 津末良介君

○副議長(關直彦君) 衆議院規則第七條ニ依リ、奥澤三郎君得點過半數タルヲ
以テ議長候補者ニ當選セラレマシタ(拍手起立)他ノ一名ハ過半數ニ達シマセスカラ、衆
議院規則第八條ニ依リ花井卓藏君、筭浦勝人君、板倉中君、永江純一君、此四
君ノ中ニ就テ二君ノ投票ヲ願ヒマス、其投票ノ方法ハ投票用紙ヘ二君ノ名前ヲ記載
セラレマシテ、木札ノ名刺ヲ添ヘテ御差出アランコトヲ希望致シマス
○齋藤隆夫君 唯今無効ノ投票が十一票アルト云フコトデアリマシタガ、ソレハ公表ナ
サイマセヌカ、吾々議員ニ御示シニナリマセヌカ
○副議長(關直彦君) 祕密會ヲ開イテ御示シ致スコトヲ御諾リ致シマシタラ、開カヌ

○副議長(關直彦君) 衆議院規則第七條ニ依リ、奥繁二郎君得點過半數タルヲ以テ議長候補者ニ當選セラレマシタ(拍手起ル)他ノ二名ハ過半數ニ達シマセスカラ、衆議院規則第八條ニ依リ花井卓藏君、箕浦勝人君、板倉中君、永江純一君、此四君ノ中ニ就ア二君ノ投票ヲ願ヒマス、其投票ノ方法ハ投票用紙ヘ二君ノ名前ヲ記載セラレマシテ、木札ノ名刺ヲ添ヘテ御差出アランコトヲ希望致シマス

○齋藤隆夫君 唯今無效ノ投票ガ十一票アルト云フコトニアリマシタガ、ソレハ公表ナサイマセヌカ、吾々議員ニ御示シニナリマセヌカ

○副議長(關直彦君) 祕密會ヲ開イテ御示シ致スコトヲ御詰リ致シマシタラ、開カヌコトニナリマシタノアリマズ

大正三年三月十七日

内閣總理大臣伯爵山本權兵衛

衆議院議員黒須龍太郎君提出海軍查問會ニ關スル質問ニ對シ別紙海軍大臣答辯書差進候

(別紙)

衆議院議員黒須龍太郎君提出海軍查問會ニ關スル質問ニ對スル答辯書

一 本項前段ニ付テハ質問ノ事實ナシ後段松本中將ニ對スル出京命令ハ查問委員會ニ關係ナシ

二 質問ノ事實ナシ

三 前二項ニ依リ明瞭ナルヘシ

四 査問委員會ノ事務ハ既ニ軍法會議ニ移リタルヲ以テ終了シタルモノニシテ殊更ニ之ヲ閉鎖シタルモノニ非ス從テ質問ノ如キ事實ナシ

右及答辯候也

大正三年三月十六日

海軍大臣男爵齋^{サカイ}實

大正三年三月十七日

内閣總理大臣伯爵山本權兵衛

衆議院副議長關直彦殿

衆議院議員小林勝民君提出判事及檢事ノ休職並判事ノ轉所ニ關スル質問ニ對シ別紙答辯書差進候

(別紙)

衆議院議員小林勝民君提出判事及檢事ノ休職並判事ノ轉所ニ關スル質

一 裁判所ノ廢止並三部ノ構成及權限ノ變更ニ適應シテ人員ヲ配置スルニアリタ
二 一定セル標準ナシ
右及答辯候也

大正三年三月十六日

司法大臣法學博士奥田義人
内閣總理大臣伯爵山本權兵衛

大正三年三月十七日

衆議院副議長關直彦殿
衆議院議員森田小六郎君提出樺太現行漁業制度ニ關スル質問ニ對シ別紙答辯書差進候

(別紙)

衆議院副議長關直彦殿
衆議院議員森田小六郎君提出樺太現行漁業制度ニ關スル質問ニ對スル答辯書

一 樺太ニ在テハ鯨鯢鮭ヲ主要魚族トシ其他ヲ雜魚ト稱シ主要漁業ニ付テハ建網

一 網制ニ據リ雜漁業ニ付テハ建網以外ノ漁具ヲ相當制限ノ許ニ使用セシム建網漁場ハ明治二十九年ノ區割ニ基キ年々之ヲ許可シ來リ今日ニ於テハ既ニ其

全部ノ處分ヲ了シ其數三百七十ヲ算ス

將來ニ對シテハ未タ現行制度ヲ變更スルノ必要ヲ認メス

二 北海道ニ於テ重要魚族漁獲ノ爲ニ網制度ヲ採用セルハ特殊ノ沿革ニ基クモ

樺太ニ於テ一網制度ヲ採用レハ斯カル沿革ナキヲ以テ魚族ノ養殖ト漁撈トノ調節ヲ圖ル上ニ於テ現制度ヲ採用シタルモノニシテ新ニ優越セル學說又ハ方法ナキ以上ハ之ヲ變更スルノ必要ナシト認ム
雜魚民ニ對シテハ雜魚ノ漁撈探檢竝ニ調理方法ノ改良ニ關シ銳意指導ヲ怠ラス且明治四十三年以來建網漁場三十九箇所ヲ許可シテ主要魚族ノ漁獲ニ從事シ得ルノ途ヲ開キ尙自營後ノ狀況ニ依リテハ更ニ許可ヲ與フルニ名ナラサルノミナラス一面之ニ要スル資金ノ造成ヲ圖ラシムルカ爲管理方法ヲ設ケ以其蓄積ヲ確實ナラシメシコトヲ期シツアリ

右及答辯候也

大正三年三月十七日

内務大臣原敬

内閣總理大臣伯爵山本權兵衛

衆議院副議長關直彦殿

衆議院議員加瀬禧逸君外一名提出犯罪少年取締法制定ニ關スル質問ニ對シ別紙答辯書差進候

(別紙)

衆議院議員加瀬禧逸君外一名提出犯罪少年取締法制定ニ關スル質問ニ

犯罪少年不良少年及放浪少年ノ取締ヲ嚴重ニスルノ必要アルコトハ政府モ亦之ヲ認ムル所ニシテ當局ニ於テハ夙ニ之ニ關スル法律案ノ調査ニ著手シ立案既ニ數回ニ及ヘリト雖元來此法制タル各般ノ法令ニ關聯スル所廣ク且其ノ實施ニ關スル設備ニ付テモ頗ル考慮ヲ要スルモノ少カラサルヲ以テ本期帝國議會ニ之カ成案ヲ提出スルコトヲ得ルヤ否ヤ未タ之ヲ言明スルコト能サルヲ深ク遺憾トス

右及答辯候也

大正三年三月十六日

内務大臣 原 敬
司法大臣法學博士奥田義人

大正三年三月十七日

衆議院副議長關直彦殿
内閣總理大臣伯爵山本權兵衛

衆議院議員齋藤隆夫君提出新聞紙ノ發賣禁止ニ關スル質問ニ對シ別紙答辯書
差進候
(別紙)

衆議院議員齋藤隆夫君提出新聞紙ノ發賣禁止ニ關スル第三質問ニ對ス
ル答辯書
新聞紙ノ發賣領布ヲ禁止シタルハ法律ノ限定セル範圍ニ於テ適當ニ之ヲ行ヒタルモ
ノニシテ禁不事項ヲ摘小セサルハ行政處分ノ内容ニ屬シ且法律ノ認メサル所ナルニ依
ル
右及答辯候也

大正三年三月十七日

内務大臣原敬

○副議長(闇直彦君) 質問第一、國防ニ關スル質問、澤來太郎君

一 國防ニ關スル質問

(澤來太郎君登壇)

(拍手起立)

○澤來太郎君 本員ノ既ニ提出シテ置キマシタル國防ニ關スル質問ハ、第一項ヨリ第
十三項ニ亘ル長文ニナッテ居ルノデゴザイマス、此ノ如キ長文デアリマスルガ故ニ、成ベク議
會ノ切迫セザル以前ニ於テ、又問題ノ輻湊セザル前ニ於テ、充分ニ此各項ニ説明ヲ
加ヘテ見ヤウト云フ考ヲ持テ居シタノデゴザイマシタ、然ルニ前ノ議長ハ何故ニカ私ニ此
質問問題ヲ日程ニ上セルコトヲ遅延サレタノデゴザイマス、遺憾ナガラ今日初メテ之ニ説
明ヲ加フルニ立至ツタノデゴザイマス、御承知ノ通り會期ハ切迫シテ居ル、問題が輻湊シ
テ居リマスノデ、今此各項ニ對シテ一々説明ヲ加フルノ時間ナキヲ遺憾トルモノデゴザ
イマス、此點ヨリ考ヘマスレバ、本員ノ質問ハ前ノ議長ノ爲ニ恰モ演説ノ時間ヲ制限サ
レタルカ如キ感ヲ禁シ得ヌノデゴザイマス、而シテ本員ノ此問題ニ就テ政府當局者ニ問ヒ
マスルコトハ、第一十八議會以來今回ニ至ル迄三回ニ及シテ居ルノデゴザイマス、何故
ニ本員ハ此問題ニ對シテ此ノ如ク執著スルカト云ヘバ、此國防問題ノ根本的ニ解決サ
ル、ト否トか、即チ我國ニ於ケル政治問題ノ總テノ解決如何ニ大ナル關係ヲ有シテ居ルノ
デゴザイマス、歷代ノ内閣ニ於テ、何時モ閣議ノ暗礁トナル所ノ問題ハ此國防ノ問題デゴ
ザイマス、又來ル議會ニ於テモ來ル議會ニ於テモ、議會毎ニ論爭ノ問題トナル所ノモノ
モ亦此國防問題ニ歸シテ居ルノデゴザイマス、此國防問題ナルモノノ解説如何ハ、一言
ニシテ之ヲ言ヘバ總テノ問題ノ解決テアルト信シテ居リマスル爲ニ、苟モ問ヲ發シテ而シ
テ之ニ副フダケノ返答ヲ得ヌ中ハ、此國家ノ大問題ヲ解決スル必要上、尙ホ今後ニ於
テモ或ハ同一質問ヲ試ミルノ時ガアルデアラウト信シテ居リマス、幸ニシテ當局者が本員ノ
熱心ト、ソレカラ國家ノ大問題デアルト云フコトニ御注意下サイマシテ、十一分ノ御答
辯ヲ下サイマスルナラバ、或ハ今回ヲ以テ此質問ハ打切りニ致スカモ知レマセヌ、ケレドモ
若シ以前ノ如ク曖昧模稜ノ返答ヲ以テ、一時ヲ糊塗セントスルガ如キ態度ニ出テラル、
コトガアツタナラバ、今後一回ナラズ更ニ更ニ又歩ラ進メテ追問スル所アラント欲スル
者デゴザイマス、此ノ如キ問題ハ苟モ議員トシテ員ニ列スル以上ハ、是非共問ハザル可
ラザル所ノ問題デゴザイマシテ、又苟モ當局大臣トシテ此ノ如キ問ニ會ヒマシタ以上ハ、
是非責任ヲ負ウテ誠實ニ答辯セザル可ラザル問題デアルト信ズルノデゴザイマス、此各條

一 陸海兩相ノ責任ハ單ニ國防上既定計畫ノ遂行ニ要スル豫算ノ要求若ハ裁定
ヲ爲スニ止マリ之カ基礎タル計畫上ノ責任ニハ與リ關セサルモノナルカ
二 國防ノ方針竝之ニ伴フ計畫ナルモノハ陸軍ニ於テハ參謀本部、海軍ニ於テハ軍
令部ニ於テノミ企畫スルモノニシテ陸海兩相ハ之ニ參與セサルモノナルカ
三 國防計畫ノ遂行上財政其ノ他ノ關係ヨリ内閣ノ意見ト參謀本部若ハ軍令部
ノ計畫ト兩立セサル場合ニ際セハ陸海兩相ハ孰レニ去就スヘキヲ相當ナリト思
惟スルカ
(参照)

四 國防計畫ナルモノハ國家生存ニ關スル絕對的ノ問題ニシテ全ク政治圈外ニ屬
スルモノトスレハ時ニ或ハ財政其ノ他ノ問題トナル所ノモノ
超然トシテ強行スルノ優越權アルモノト思惟セサルヲ得ス當局者ノ所見果シテ
如何
五 國防計畫ナルモノハ作戰上ノ全責任ヨリ打算スルモノナルヘシト雖特ニ外交財
政ト密接不離ノ關係ヲ有スル勿論ナルヲ以テ少クトモ外相竝藏相ハ當然之ニ
參與セサルヘカラサルモノト思惟セ
六 言フ迄モナク國防計畫ナルモノハ一定ノ方針ノ下ニ統一セラレ居ルモノト思惟セ
サルヲ得ス果シテ然ラハ陸海軍ノ豫算ナルモノハ必スヤ陸海協定的ナラサルヘカ
ラス敢テ問フ實際協定的ニ豫算ヲ編製シツツアルカ
七 惟フニ所謂國防計畫ナルモノハ作戰部即チ陸軍ニ於テハ參謀本部、海軍ニ於
テハ軍令部ニ於テ企畫スルモノトスレハ全ク政治圈外ニ超然タリ然レトモ之ニ要
スル國防費ニ對シテハ政治圈内即チ内閣ノ同意議會ノ協賛ヲ經ヘキモノナルヲ
以テ勢ヒ計畫ノ内容ヲ明示セサルヘカラサルモノト信ス陸海兩相ノ所見果シテ
如何

「軍事ノ機密ニ屬スルヲ以テ開示スルヲ得ス」ト答辯シタリ然ルニ現ニ今期二月十四日貴族院本會議ニ於テ議員江木千之君ノ二箇増師計畫ニ關スル質問ニ對シ陸相ノ所答中増師計畫ノ内容ヲ説明シテ曰ク「本年度末ヨリ大正五年ニ及ヘハ西伯利亞方面ニ於ケル鐵道輸送力ノ状況ニ大ナル變化アルヘキ」ト断言シ更ニ輸送力ノ増大スヘキニ言及シ尙進ムテ「輸送力ノ増大ハ即チ假想敵ノ満洲方面ニ於ケル其ノ集注力ヲ激増セシム是レ増師ノ必要ナル所以ナリ」ト言明シタルハコレ明ニ國防計畫ノ内容ヲ公示シタルモノト認メサルヲ得ス果シテ然ラハ國防計畫ノ祕密ナルモノハ單ニ衆議院ニ對シテノミノ祕密ナルカ若然ラストセハ何故ニ第三十回議會ニ於ケル本員ノ質問ニ對シテハ其ノ内容ヲ明示セサリシカ

九
若公會ニ於テ漏洩スヘカラサルモノヲ漏洩シタリトセハ當局者ハ當然其ノ責ニ任セサルヘカラサルモノト信ス當局者ノ所見果シテ如何又止ムヲ得スシテ開示シタリトセハ何故ニ之ヲ祕密會ニ付スルコトヲ爲ササリシカ

十
明治四十二年度末海軍省所管横須賀海軍經理部ニ於テ御徳炭購入ニ際シ當時尙半箇年分ノ使用數量即チ二百一十一噸ノ在庫品現在セニモ拘ラス更ニ四百五十噸即チ八箇月分以上ニ相當スル使用數量ヲ購入シテ同年ノ豫算ヲ以テ翌四十三年度分ニ使用シタル事實ニ對シ當局者ハ豫算外違法支出ニアラスト思惟スルカ

十一
當局者ハ陸海各工廠内ニ於ケル物品ノ購入及不用品ノ拂下等ニ關シ吏商相結託シテ種々ノ醜關係ヲ醸シ且行ヒツアル事實ヲ認メ居ルヤ否

十二
第三十回議會ニ於ケル本員ノ質問（國防ニ關スル件）第一二十三項中第十

八項ニ限り答辯ヲ與ヘサリシ理由如何

十三
陸軍ノ演習時ニ際シ往々農作物ニ多大ノ損害ヲ與ヘナカラ偶々被害者ノ申告ナキニ於テハ之ヲ知ルモ顧ミス或ハ民家ニ宿泊ヲ強請シ或ハ數時間公道ヲ遮断スル等ノ權ヲ躊躇スルコト屢ナルコトヲ耳ニス當局者ハ一層之ヲ戒飭スルノ意思ナキカ又此ニ事實アルコトヲ認メ居ルヤ否

○副議長（關直彦君）諸君ニ御諮リ致シマスガ金尾君が見エマシタカラ第四ダケ許シテ差支アリマセバ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○副議長（關直彦君）ソレデハ金尾君ニ第四ノ本願寺事件ニ關スル質問ヲ許シマス

四 本願寺事件ニ關スル質問

○金尾稜嚴君 諸君、本員ヨリ提出致シマシタ質問ハ三件デゴザイマス、其中二件ダ

ケハ唯今答辯カゴザイマシタ、併ナガラ其答辯甚ダ要領ヲ得マセス、第二件ハ未ダ答辯ガゴザイマセス、第二件ニ付テノ質問、併セテ前ノ一件ニ自然關聯ヲスル質問ニアルカモ知レマセス、諸君御承知ノ通り、我帝國ニハ諸外國ニ於ケルが如キ完全ナル宗教制度ト云フモノが今日マデ立ツテ居リマセス、唯明治七年ニ刑部省ヲ廢止シマシタトキニ、刑

部省所管ノ事務ヲ内務省ニ移シマシテ、内務省ニ社寺局ト云フモノヲ置イタ後ニ宗教局ト改シタ、昨年ニ至テ文部大臣ノ所管ニ之ヲ移サレタ、是ダケデアラテ、此不完全ナル制度ハ如何ナル有様ニナッテ居ルカト云ヒマスト、神佛各宗派ニ對シテ管長ト云フモノヲ政府が置クノデス、尤モ是ハ各宗派カラ選舉シテ出マシタモノヲ政府ハ認可ヲスル、斯ウ云フコトニナッテ居ル、而シテ各宗派ノ管長ヲシテ教師ノ任免各寺ノ住職ノ任免ヲ、文部大臣が管長ニ委任條件トシテ任せテ居ル、是が今日ノ制度デアル、サリナガラ如何ニ不完全ナ制度ト雖モ、唯今政府ノ答辯ヲ致シマシタ通り、政府ハ宗教行政ニ關スルコロノ監督權ヲ持ツテ居ル、テ神佛各宗派ニ對シテハ宗教行政上監督ノ責ニ任ズ政府が任ズルコトニ今日ナツテ居ル、シテ見マスルト政府ハ宗教行政ノ監督上、前項各宗派ノ管長ニシテ若シ不都合ノ行爲ガアルトキニハ之が認可ヲ取消ス、語ヲ換ヘテ云ヘバ免黜スルト云フダケノ權能ヲ持ツテ居ルト云フコトハ、言フマテモナイ明カノコトデアル、是が若シ無イナレバ殆ド監督權ト云フモノハ無イノデス、是ガアラシテ始メテ監督權ヲ行使スルコトが出來ル、然ルニテス、政府ハ宗教行政ノ監督上更ニ責任ヲ盡シテ居ルト云ヘバ免黜スルトコロノ本願寺ノ内部ノ腐敗紊亂ト云フモノハ殊ニ甚シイ、現ニ昨弄シテ門末ヨリ絞上ゲタトコロノ淨財ヲ濫費シテ、常ニ豪奢ニ耽シテ居ル、其結果財政ハ某ナル人ガ、繼職以來宗務ヲ疎外シテ、專ラ旅行ニ耽シテ寺法ヲ蹂躪シ、常ニ教學ヲ詫日々ニ紊亂シ、常ニ國法ヲ無視シテ大日本慈善財團、並ニ本末共保財團ノ基金ヲモガ出ス、教鞭ヲ執テモ學校ノ先生ヲモ自分ニヤル、斯ウ云フ人ナノテ少シモ旨ニ違ウタ者ハ、一日アモ側ニ使ハナイ、斯ウ云フ流儀ノ人アアル、此人ガ上ニ立ツテ政府ノ大業務ヲ人ニ任スコトノ出來ナイ人アアル、何事モ自ラヤルノデス、學校ノ試験ノ問題モ自分失敗ラシタ、斯ウ云フヤウナコトヲ召使ツテ居ル者ノスルノヲ默ツテ見ル人アヘナイノアリル、而モ暴露以來此間司法權ノ及ブニ至ルマテト云フモノニ年ノ間、此要路ニ當ツテ唯召使ノ者ノシタノデ己レガ知ラナイト言ウテ居レナ（罰が當リマスヨ）ト呼フ者アリスノ如キ亂暴ナ有様ニナッテ居ルノヲ、政府ハ尙ホ不問ニ付スルカ、次ニ前項ノ事實ニ關シテハ、同寺役僧數名既ニ起訴セラレタリト雖モ、其罪惡ノ根本ハ彼レ管長大谷光道義ノ源泉タルベキ本山ニシテ、此疑惑ヲ惹起スルニ至リ、而モ管長責ヲ負ウテ引退スル

デモナシ、尙平然トシテ居ル、其言フコトハドウアルカト云ヘバ、己レハ知ラナイ召使ノ者ガヤッタノデアル、召使ノ者がヤッタノ暴露シテ以來三年ノ間黙々テ見テ居ル道理ガナイ、然ルニ今日事此ニ至シテ己レハ知ラナイ、召使ノ者がヤッタノダ、元來管長ノ考デ見マスルト、自分ハ九條家ノ親類アル、自分ハ九條家ノ親類アルカラ如何トモ門末ノ者ハ黙ツスルコトが出来ナイモノダトスウ考ヘテ居ル、自分ハ如何ナルコトヲシテモ門末ノ者ハ黙ツ

以来毫モ反省ノ意思が見エナイ、自覺ノ意思が見エナイ

○副議長(關直彦君) 金尾君ニ御注意致シマスガ、アナタノ質問ハ第四デアリマス

○金尾稟嚴君 サウデス

○副議長(關直彦君) 第二第三ハ答辯ガ濟シテ居リマス、成ルベク第四ニ就テ御質

問ニナルヤウニ

○金尾稟嚴君 宜シウゴザイマス、是等ノコト三付テハ政府が取調ベタ上デ答辯スルト云フコトデゴザイマスガ、此本山ノ改革問題ニ付キマシテ斯ノ如キ有様ニナルコトヲ憂ヘテ、門末ノ者が本願寺ヲ完全ナル立憲制度ニシテ貰ヒタイト云フトコロノ請願ヲ致シタノデアル、是ハ既ニ衆議院ニ於キマシテモ其當時ノ議長タリシ大岡君ヲ初メ、衆議院議員ノ中ニ二十八名本願寺ノ門徒ノ者が連印ヲ致シマシテ、法主ニ向ケア其意見書ヲ出シタルマアル、又廣島縣ヲ始メ總テ宗教ニ熱心ナトコロノ門末ハ、其通りノ意見ヲ法主ニ提出ヲ致シタノデアル、所ガ毫モ其意見ヲ容レル様子ガナイ、無ノミナラズ其改革ノ主唱者ヲ片端カラ住職ヲ取り、教師ヲ取り、僧侶ノ分限ヲ取リ、斯ウ云フコトヲヤッタシマセヌ、假令本山が住職ヲ取ラウガ、是ハ本山ノ處分が不當デアル、相變フズオ前サンハ住職アル、住職トシテ門徒ハ待遇ヲスル、之ヲ本山ハ警察ヲ頼ンテ警察カラ干渉ラサセテ訓諭ヲセタノデアル、是が即チ第三ニ出シマシクトコロノ質問ハ即チ是レデアリマス

一眞宗本願寺派本山宗務ノ腐敗財政ノ紊亂ヲ救治セムカ爲管長ヲシテ完全ナル立憲制度ヲ設立セシメムトシ改革ヲ主張シタル滋賀縣愛知郡稻村字薩摩善正寺住職眞野寂默ニ對シ管長大谷光瑞ハ罷教師、免住職ノ處分ヲ爲シタルニ依リ右眞野寂默ハ其ノ處分ニ不服セス大正二年六月内務大臣宛管長不當處分取消ノ請願書ヲ提出シタリ然ルニ同年十一月十日文部大臣ハ稻村役場ヲ經由シ詮議ニ難及旨ヲ以テ右書面ヲ却下シタリ

政府ハ眞野寂默ニ對スル本願寺派管長ノ處分ヲ以テ正當ノ處分ナリト思惟スルカ果シテ正當ノ處分ナリト思惟セハ其ノ理由如何
一右眞野寂默ハ其ノ後更ニ奪度牒ノ處分ニ處セラレタモ固ヨリ管長ノ處分ハ悖理非法ノ甚シキモノナルカ爲同寺門徒一同亦管長ノ處分ニ不服セス故ニ葬儀年忌等ノ佛事ヲ悉ク眞野寂默ニ依頼シ依然同人僧侶タリシ時ト同一ノ待遇ヲ爲スニ至レリ然ルニ大正三年一月二十六日滋賀縣愛知川警察署長西澤猛獅ハ眞野寂默ヲ召喚シ僧衣ヲ著シ又ハ葬儀等ノ佛事ヲ營ムヘカラスト職權ヲ以テ嚴重ニ説諭ヲ加ヘタリ

本員等未タ曾ア我カ帝國ノ法律勅令乃至警察處罰令等ニ於テ僧侶ニ非サル者僧衣ヲ著スヘカラス僧侶ニ非サル者葬儀等佛事ヲ營ムヘカラストノ禁令ヲ一讀シタルコトナク且右等信嚮上ノ行爲何等國家ノ秩序社會ノ安寧ニ危害ナキニ拘ラス右警察署長ハ如何ナル職權ノ下ニ此ノ如キ干涉ヲ敢テシタルカ警察權濫用ノ最甚シキモノナリト信ス政府ノ所見如何

是レデアル、加之、酷イコトガアルノデアル、先キニ政府ハ答辯シテ事實ヲ否認シマス、事實ナシト言ヒマスケレモ、驚入ルノデ、此本願寺ノ疑獄ノ將ニ起訴セラレントスルニシテ、京都地方裁判所檢事正竝ニ檢事兩名大阪ニ出張ヲシテ、改革主唱者タル岡道亮、八木將曉、眞野寂默ト云フ三人ヲ喚ヒマシテ、イロ／＼取調ヲシテ、本事件ハ愈々起訴スベシ、然レドモ法主ニ及バザル範圍ニ於テ起訴スベシ、ソレニテ宜シキヤト云フコトヲ問ウタノデアル、ソコデ本員ハ實ニ容易ナラズコトダト思ヒマシテ、其列席者ノ一人岡道亮君ヨリ其事ヲ傳聞キマシテ、尙一人テハ不十分ダト思ヒマシテ、確メルタメニ二人ノナコトヲ檢事が言ヒタト云フコトデアルガ間違ナイカ、斯ウ云フ手紙ヲ出シタノデアル、斯標中ノ一人滋賀縣愛知郡稻村字薩摩眞野寂默ト云フ人ニ手紙ヲ出シタノデアル、斯標ナコトヲ檢事が言ヒタト云フコトモ手紙モ悉ク嘘テアル、檢事ノ姓名ハ檢事正佐藤春樹、檢事平山正祥、事ニ曰ク、御尋ノ通ニ候也トアル、檢事ノ姓名ハ檢事正佐藤春樹、檢事平山正祥、檢事末松正行、起訴スルトモ窺下ニ及バスト斷言致居候斯ウ書イテアル、然ルニ政府ハドウデアルカ、斯ウ云フ立派ナ證據がアルニモ拘ラズ事實ヲ否認シテ事實ナシトハ何事デアル、人民ノ言フコトモ手紙モ悉ク嘘テアル、政府ノ言フコトヨリ外實事ナシトイト云フ考ヘカ知レマセヌガ、驚入ヲ話デアル、私ハ三人ノ中ノ一人カラ聞イテ又他ノ一人ニ手紙ヲ出シテ尋不テヤッタ、サウスルト他ノ一人が此通り御尋ノ通ニ候、起訴スルトモ窺下ニ及バスト斷言致居候、斯ウ云フ立派ナ證據がアルニモ拘ラズ、此事實ヲ否認スルトハ何事デアリマス、斯ウ云フ遣口テ申シマシタナラバ、私ハ思フ小學校ノ教員ニ教員ガ政府トハ如何ナルモノカト云フ教案ヲ書ギマシタナラバ、生徒ノ答案ニ政府トハ嘘ラ吐クモノナリト云フ答案ヲ出スデゴザイマセウ、人民ノ言フコトハ皆嘘ダ、實事デモ嘘ダト云フ――政府ノ方ハ之ヲ事實デアルト云フコトヲ言ヘナ立場ニ居ルカラズゴザイマセウガ、斯ノ如キ立派ノ證據ガアルニモ拘ラズ、一切事實ヲ否認シテ嘘ヲ言フトハ何事デゴザイマス、私ハ種々詳細ニ申上ゲレバ材料ハ山ホド持テ居ル、併ナガラ皆様モ御退屈デゴザイマセウカラ、成ベク簡単ニ要領ヲ摘ンテニシテ出シマシタ質問書ノ第三ノ質問ニ付テ種々述べ、併セテ政府ノ答辯ニナリマシタ第一第二ニ關聯シテ重ネテ政府ニ質問スル、斯ウ云フ考テゴザイマス、斯ノ如キコトニナリマスルマテニ京都府知事ノ如キハ、慈善財團共保財團ノ基金ガカラップニナシテ居ルコトヲ知シテ賴マレタモノデアルカドウ云フモノカ、一昨年ノ検査ヲ京都府知事ハシナカツタノデアリマス、若シ検査ヲシテカラズボデアルノヲ、瞞サレテ居ルト云フナラバ、京都府知事ノ検査ハ役ニ立タヌ検査デアル、實際検査ヲシナカツタノデアリマス、斯ノ如キ有様ニナシテ今日ノヤウナ疑惑事件が起リマシテモ、猶ホ臭イ物ニ蓋スルが如キコトヲシテ、此場合飽マテ宗教界ノ廓清ニ政府ハ監督上力ヲ入レルト云フコトノ決心ヲ認メマセヌハ、實ニ遺憾ニ堪ヘヌノデアリマス、前刻政府ヨリノ答辯ハ是ハ悉ク嘘テアル、事實ナシト云フノハ嘘テアル、アトノ簡條ハ取調ベテ返事ヲスルト云フヤウナ生温イコトヲ

ハ吾ミハ承知スルコトハ出來マセヌ、第二ノ質問ノ趣意ヲ述ベマシテ、併セテ第一第一ノ質問ニ付テ重ネテ答辯ヲ求ムル、斯ウ云フ決心デゴザイマス、以上ノコトヲ申述ベテ置キマス

○副議長(關直彦君) 第五ノ海洋ノ調査及研究ニ關スル再質問、小西和君

五 海洋ノ調査及研究ニ關スル再質問

○小西和君 簡單アスカラ此席カラ申シマス、此前ニ海洋ノ調査及研究ニ關スル質問ヲ致シマシタガ、ソレニ對スル政府ノ答辯ハ一向要領ヲ得マセヌタメニ、再質問ヲ出シタニ過ギマセヌ、今度出シテアリマスル五箇條ノ質問ニ對シテ、政府ヨリ速カニ明確ナル御答辯ヲ求ムレバソレデ宜シウガザイマスカラ、其趣意ハ辯明致シマセヌ、ソレダケノコトヲ申上ダテ置キマス

○小山谷藏君 本員ハ一月十三日ヲ以テ政府ニ五國借款ニ現ハレタル對支外交方針ニ關スル質問書ヲ提出致シマシテ、而シテ其説明ヲ唯今小西君ヨリ質問ヲセラレタ同日ニ於テ説明ヲ致シテアルノデゴザイマス、然ルニ今日ニ至ルマテ未ダ政府ノ答辯ヲ受ケマセヌ、今ヤ會期ハ切迫致シマシテ餘日モ甚ダシシイノデアリマスカラ、議長ヨリ直チニ其答辯ヲ請求シテ貴ヒタイノデアリマス、是ハ外交ニ關スル質問デアリマシテ、外交ノ當路者ハ午睡ヲシテ居ルノデハナイカト云フ心配ヲシタ餘り出シタ質問ニアリマス、此答辯ニ向シテモ亦更ニ午睡ヲ繼續サレテ居ルノデハナイカト憂フルノデアリマス、故ニ直チニ答辯アランコトヲ特ニ議長ヨリ請求セラレンコトヲ望ミマス

○副議長(關直彦君) 小山君ノ御請求ノコトハ承知致シマシタ——第九、米價調節ニ關スル質問、加賀卯之吉君

九 米價調節ニ關スル質問

(加賀卯之吉君登壇)

○加賀卯之吉君 諸君、私ノ政府ニ質問セントスル所ノモノハ頗ル眞面目ナ問題デ、米價ノ調節ト云フコトニ付テ農商務大臣ニ一ツ伺シテ見タイト思ヒマス、事柄ハ頗ル平凡ナコトデアリマスケレドモ、其關係スル所ハ頗ル大ナル問題デアリマシテ、決シテ輕々ニ看過スベカラザル問題デゴザイマス、大正元年ノ六月米價非常ニ暴騰シ、國民是ガ引下策ニ汲タシテ彼處此處ニ米價調節ノ演説會ヲ開キ、或ハ當局ニ追シテ米價ノ引下ヲ求メタト云フコトハ、諸君ノ御記憶ニ新タル所ト思ヒマス、所が當時ノ政府ハ干涉省ノ干渉デアリマシテ、當時日本米ノ供給力が少ナイカラシテ米價が騰貴スルノデアル、此調節ヲ圖ルニハドウシテモ外ノ米ヲ持ッテ來テ供給ヲ圓滑ナラシメストイカント云フ議論ニ歸著シタト見エテ、全國四十二箇所ノ取引所ニ對シテ定款ノ改正ヲ命ズルコトハ出來ナイノデ、内訓ヲ以テ日本米ノ賣買ニ代ユルニ、朝鮮米及臺灣米アリマス、其ノ出シテ貧民ニ安イ米ヲ買ハセルト云フコトモ致シマシテ、積極ニ消極ニ種々米價ノ引下ニ努メタノデゴザイマス、其中ニモ最モ議論ノアツタノハ、定期市場ニ於ケル農商務省ノ干渉デアリマシテ、當時日本米ノ供給力が少ナイカラシテ米價が騰貴スルノデアル、此調節ヲ以テ是ニ代ラシメルト云フコトヲ命ジタルノデアル、トロガ各取引所ニ於キマシテ

ハ是ニ直チニ應シナカッタ應シナカッタケレドモ應シナケレバ命令ヲ以テ之ヲ行フト云フタカラ大正二年度ニ於テ更ニ政府ハ命ジテ此代用制ヲ八月九月十月ト云フ其高イ時ニ於テノミ之ヲ爲サズシテ、平時ニ於テ之ヲ爲スト云フコトヲ更ニ取引所ニ命ジタノデゴザイマス、此時モ亦取引所ハ之ヲ拒シテ見マシタケレドモ、泣ク子ト地頭ニハ勝テスト云フ喰ヘノ如ク、遂ニ政府ハ命令通り之ヲ行シタノデゴザイマス、所が米ノ價ハ其制度ヲ改メタト云フ單純ナル理由デハアリマセヌケレドモ、數年來非常ナ高値ヲ持タタメニ、所謂食延バシガ行ハレテ——節食が行ハレテ、或ハ下級食物ヲ食料ニ致シマシタメニ、其供給額ハ多少減リマシタケレドモ、前年度ノ殘餘米ト云フモノヲ生シテ來マシテ、現ニ一昨年ノ收穫ヨリモ昨年ノ收穫ハ少ナクテモ需給力ノ潤澤ニナツタト云フ事實ヲ現ハシテ、菟ニ角マシタ當時ノ直段カラ、昨今ノ直段ト比較致シテ見マスルト、一時のモノナク、一箇月宛平均シタ米價が即チ大正元年六月ノ二十四圓七十錢ト云フ平均直段カラ見マスルト、昨今ハ平均直段が十八圓五錢ト云フコトニナッテ、丁度六圓七八十錢下ガツテ居ルノデゴザイマス、是ハ東京ノ深川市場ニ於ケル平均相場ヲ以テ其數字ヲ現ハシタモノデゴザイマス、若夫レ之ヲ大阪ニ致シマシタナラバ、或ハ神戸ニ致シマシタナラバ、ヤハリ是モ五圓以上ノ低落ヲ致シテ居ルノデゴザイマス、何が故ニ斯ク米價が低落致シマシタカト云フト、茲ニノ大ナル理由ガアルノデゴザイマス(「アル」と呼フ者アリ)即チ此鮮臺米代用ト云フコトガ——此法が實施セラレマシテ以來、日本米ノ需要ト云ソモノガ——假需要ト云フモノが非常ニ減ジテ參リマシタ、之ヲ統計ノ上ニ見マスルト云フト、既往五箇年間明治四十一年カラ大正二年ニ至ルマデノ間ニ於キマシテ、最モ多キ時ハ百七十九万石、少ナキ時ガ七十四五万石、之ヲ一年平均致シマスト百二十四五万石ノ米ハ此定期市場ノ商品トナツテ居ツタノデゴザイマス、所が此鮮臺米代用制ヲ布イテ以來ト云フモノハ、殆ド此日本米ノ需要ト云フモノが無クナッタ、日本ノ米ノ價ヲ差出ストコロノ日本ノ米ノ取引所ハ、朝鮮米及臺灣米ノ相場ヲ建テル市場ト化シ去テ、日本米ト云フモノヲ全然驅逐シタノデゴザリマス、之ヲ又事實ノ上ニ當様メテ申シスルト云フト、大正二年ノ五月カラ十一月マデノ間ニ於テ、主ナル取引所即チ東京、大坂、神戸、下關、桑名、此全國有數ノ取引所ノ五箇所ニ就イテ見マスルニ、其受渡シガ三十六万七千石アツノデゴザリマス、其ニ三十六万七千石アツ中テ日本米ノ受渡シニナツタモノハ僅カニ三万三千石シカナイ、殆ド十分ノ一二足ラナイ少數ノモノデゴザリマス、即チ當然ニ三十六万石需要ノアルモノガ、此鮮臺米代用ノタメニ二十三万石ト要ラナクナッタ、之ヲ一年ニ通算シテ見マシタナラバ、前申シタル如クニ、百二十何万石ト云フ需要ガ——全ク一時的需要ノ途ヲ——御客サンヲ失タコトニナルノデアリマス、是ガ農家所謂米ノ生産者ノタメニ非常ナル苦痛トナツタノデゴザリマス、論者或ハ申シカセウ、日本ノ米ハ一時的要ラナイ米ニサレマシテモ到底要ルベキ米アルカラ、唯定期市場ニ於テ之ヲ驅逐シタメニ廉クナツタノデハナイト云フカモ存ジマセヌ、併ナガラ米ハ

實物ニシテ藏へ入レ置ク譯ニモ往キマセス、取レバ必ズ賣ラケレバナラヌモノアリマス、然ルニ此假需要ト云フモノ、減シタ以來ト云フモノハ、全ク當用——其日々々ノ用ダケ外商人ガ地方ニ買ヒニ參リマセス、一方ニハ多クノ米ヲ生產シテ之ヲ賣ッテ肥料ヲ買入レヤウツル、或ハ之ヲ賣ッテ債務ヲ果サントスル、種々ナル必要ガアルニモ拘ラズ、米ノ需要者買ヒニ往クコトが甚ダ稀デアル、其證據ニハ東京ノ深川市場ニ於ケル市ノ在高ト云フモノガ、前年以前年其以前カラ比ヘマシテ、今日ノ穀存高ト云フモノハ頗ル僅少ナモノデ、殆ド三分一或ハ半分位シカ其在來ノ數ヲ數ヘルコトが出來ナイノデゴザイマス、是モ亦今申ス如クニ定期市場ニ日本米ノ賣買ト云フモノヲ驅逐シタガタメニ、其米ヲ危險ヲ冒シテ賣ッテ來テ掛繋グト云フヤウナ者ガ無クナツタ結果ガ、此深川ノ在米多キヲ見ルニ至ラヌ原因アルノデゴザイマス、斯ノ如クニ米ノ需要ノ減リマシタコトハ、一方米ノ生産者ノタメニ非常ナル苦痛アラウト思フノデゴザイマス、若シソレ私ヲシテ言ハシメタナラバ、今日ノ米ノ價ハ或ハヨリ以上低落セヌトモ限ラヌト云フノデゴザイマス、何トナレバズ、今日ノ米ノ需供統計上ノ有様ヲ見マスルト云フト、賣人ガ多クテ買入ガ少ナイン、熊本縣選出ノ代議士ハ能ク御承知ダラウト思ヒマスガ、熊本縣ノ本年倉庫ニアリマスル米ノ高ハ近來稀ニ見ル多數ノ米テアルノデゴザイマス、尤モ昨年ハ豐作ヲ致シマシタカラ、供給力ノ潤澤ナコトモ當然デハゴザイマスケレドモ、輸出シタ其數が前年ニ比較シテ多イ上ニ、尙殘存ガ多イノデゴザイマス、而シテ北陸道ノ狀況ヲ見マシテモ、高岡ノ倉ノ中ニアル米ハ、前年ニ比較シテ十二四万石モ輸出力ガ多イト云フコトデゴザイマス、南ノ方テ見マシテモ、地方ノ產地ニ於テ累々トシテ山ヲ成シテ居ル、而モ市價ハ段々下がシテ來ル、此ニ於テ高イ時ニ米價調節策ヲ行シタ政府ハ、廉クナラントシツ、アル米價ニ對シテモ、亦何等カ此手加減ヲ用井サルベカラズト私ハ信ズルノデゴザイマス、政府ハ米價ノ調節ニ付テ米ノ價が安クナカツタナラバ、必ズ高キ時ニ調節策ヲ行ノシタナラバ、又行ハザル可カラズテアリマスケレドモ、凡ソ言ハシムレバ、此際ニ於テ政府が政策ヲ誤ッタナラバ、米ハ一段ノ低落ヲ免ガレヌト信ズノアラウカ、今ハ丁度米ノ價トシテハ適當ナル場所ニアルノデゴザイマス、私共ヲシテ策ヲ執タノハ安クナツタラヒヲ救濟スル道ヲ講ジナケレハナラヌノデアリマス又義務ガアル

デアラウト思ヒマス、私共唯米價ノ徒ラニ高キヲ欲スルモノデゴザイマセス、高キヲ論モアルヤウデアリマス、殊ニ本議會ニ於テ皆様方ノ御同情ニ依テ農業上ノ保護政策モ種々ニ講ゼラレテ居ルノデゴザイマス、私共多大ノ感謝ヲ之ニ表サウト思ヒマス、併ナかラ私ノ政府ニ問ハントスル所ノモノモ亦正ニ此農業政策ノ一つアリマシテ、保謹政策ノ一つアリマシテ、決シテ打捨アリマシテ、此區位ヲ切捨テ錢位ニ止メ、出納事務ノ簡捷ヲ圖ルト云フコトハ官民相互ノ最モ必要トスル所ト考ヘマス、此改正案ハ其主旨ヲニ下ラントシツ、アルニ對シ、如何ナル政策ヲ執ラレルデアラウカ、是ガ私ノ政府ニ問ハント欲スル所ノ主意ニ外ナラヌノデゴザイマス

○中村啓次郎君 木日ノ質問十二以下ハ後廻シトシテ、直ニ議案ノ日程ニ入ランコトヲ望ミマス

○副議長(關直彦君) 中村君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシ異議ナシ〕聲起ル
○副議長(關直彦君) 御異議がナニ依テ質問ニ對シテハ是ヲ打切りト致シマス、日程第一國庫出納金端數計算法案、第一讀會ヲ開キマス

○中村啓次郎君 木日ノ質問十二以下ハ後廻シトシテ、直ニ議案ノ日程ニ入ランコトヲ望ミマス
○副議長(關直彦君) 中村君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシ異議ナシ〕聲起ル
○副議長(關直彦君) 御異議がナニ依テ質問ニ對シテハ是ヲ打切りト致シマス、日程第一國庫出納金端數計算法案(政府提出)
第一讀會 國庫出納金端數計算法案

第七條 附則

○副議長(關直彦君) 大藏大臣
(大藏大臣男爵高橋是清君登壇)
○大藏大臣(男爵高橋是清君) 國庫出納金端數計算ニ關シマシテハ現行法律ノ規定モアリマスガ、地租其他ニ於キマシテハ、尙ホ厘位ヲ存シテ居ルモノモゴザイマス、現ニテアリマシテ、決シテ打捨アリマシテ、此厘位ヲ切捨テ錢位ニ止メ、出納事務ノ簡捷ヲ圖ルト云フコトハ官民相互ノ最モ必要トスル所ト考ヘマス、此改正案ハ其主旨ヲ以テ重モナル目的トシ、其他現行規定中些々タル不備ノ點ガゴザイマス、之ヲ補正ス

ル目的ヲ以テ此案ヲ提出シタ譯テゴザイマス、協賛ヲ與ヘラレントラ望ミマス

○増田義一君 大藏大臣ニチヨット質問致シタ、此法案ニ依リマスト、一錢未滿ノ端數ハ切捨テルト云フノデアルガ、從來ノ四捨五入ト違ヒ、九厘以下ハ切捨テルト斯ウ解釋シテ宜シウゴザイマスカ、續イテ御伺ヒ致シマスノハ、近來小賣商人ハ五厘銅貨不足ナノ非常ニ難儀シテ居ル、釣錢ノ五厘ノナイタメニ或ハ郵便五厘切手ヲ添ヘテ出スト云

フコトデ、餘程小賣商人ハ五厘錢ノ不足ナノニ苦情が烈シイノアリマス、大藏大臣ノ御耳ニハ此小賣商人ノ此困難ヲ訴ヘルコトハ御聽キニナラズノアリマスカ、今日我民間一般ノ經濟狀態ハ、五厘錢ハ甚ダ必要アルノアリマスガ、之ヲ無クスト云フ御考

テアリマスカ、之ヲ無クスルト云フコトハ或ル點ニ於テ物價ヲ騰貴セシムルト云フコトニナルノアル、此點ニ付テ大藏大臣ハ尙五厘錢ヲ無クシテシマフト云フ御見込ナルカ、御問致シマス

(大藏大臣甲男爵高橋是清君登壇)

○大藏大臣(男爵高橋是清君) 唯今ノ御尋ノ九厘以下ハ切捨テルノデゴザイマス、ソレカラ五厘錢ハ存スルノアリマス

○副議長(關直彦君) 別ニ質問ガナケレバ日程第二ニ移リマス

第一 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

○中村啓次郎君 本案ハ先キノ會計法中改正法律案ノ委員ト、同一ノ委員ニ付託セラレントラ望ミマス

○副議長(關直彦君) 中村君ノ動議ニ異議アリマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシ」ノ聲起ル)

○副議長(關直彦君) 御異議ガナケレバ本案ハ先キノ會計法中改正法律案ノ委員ニ付託スルコトニ決シマス、次ハ日程第二、肺結核療養所ノ設置及國庫補助ニ關スル法律案ノ第一讀會ノ續ヲ開キマス

第三 肺結核療養所設置及國庫補助ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長)

○副議長(關直彦君) 八木逸郎君

(八木逸郎君登壇)

○八木逸郎君 肺結核療養所及國庫補助ニ關スル法律案ノ委員會ノ經過及結果ヲ報告致シマス、元來此法律案ハ肺結核ハ下層ノ者ニ多イ、而シテ其下層ノ者ハ療養ノ途ヲ失フ、故ニ大キナ都市ニ向シテ政府ハ命令ヲ以テ療養所ヲ設置セシメ、施療デ入院ヲセシメ肺結核ヲ防グ、斯ウ云フ意味ノ案デアルノアリマス、二回開キマシテ政府委員トハ質問應答ヲ重ネシタガ、此法律ノ文面ニハ表ハレテ居リマセヌケドモ、此法律ヲ實施スルノハ大正四年一月アリマスガ、三十万人以上ノ六大城市ニ向シテ、先づ政府が命ズルト云フノデアリマスガ、第一ニ大正四年度ニ命ズルハ東京市デ、大正四年五年ニソレが出來上リマスト、次ノ二年内ニ神戸大阪ニ命ズル、其次ニ京都、名古屋、横濱ニ命ズル、ツマリ此六大城市ニ命ジテ此療養所ヲ設置セシムルノニ、幾ド七年間ヲ要スルノアリマス、是ハ餘りトシテ緩漫ナル、幾ド申譯的デアルト云フコトガ

(石黒磐君登壇)

○石黒磐君 付託ニナリマシタ印紙稅法中改正法律案ノ委員會ノ經過及結果ヲ

ニ御報告致シマス、就キマシテハ印紙稅法中改正法律案ハ三案出テ居リマス、二案ノ遼失フ、故ニ大キナ都市ニ向シテ政府ハ命令ヲ以テ療養所ヲ設置セシメ、施療デ入

院ヲセシメ肺結核ヲ防グ、斯ウ云フ意味ノ案デアルノアリマス、二回開キマシテ政府委員トハ質問應答ヲ重ネシタガ、此法律ノ文面ニハ表ハレテ居リマセヌケドモ、此法律ヲ施行スル通帳」斯ウ云フコトニナリマシテ、附則ノ方ガ「本法ハ大正三年四月一日ヨリ之共ニ同一ノ委員ニ付託セラマシタ、第一ニ此五十七號ト云フ方カラ先ニ御話ヲ致シマス、是ハ單純ニ印紙稅法中ノ第五條ニ左ノ一號ヲ加フ、是ハ「產業組合ヨリ給合員ニ發スル通帳」斯ウ云フコトニナリマシテ、附則ノ方ガ「本法ハ大正三年四月一日ヨリ之修正ヲ致シマシタ、ソレカラ大正三年四月ト云フノヲ「大正四年四月一日ヨリ之ヲ施行ス」斯ウ云フコトニ修正ヲ致シマシテ、茲ニ可決ヲ致シマシタ、其理由ハ產業法ニ於キマシテハ特ニ營業稅、或ハ所得稅ヲ免除ニナツテ居ルノニ、組合員中ニ取合ヒラスル通帳ニ印紙ヲ貼ルト云フコトハ、少シ保護ト云フ趣意ニハ背イテ來ハシナイカ、故ニ産業法

委員會ノ委員全體ノ難論アリマシテ、爲メニ財政上ノ都合モアリマスが故ニ、大藏省ノ政府委員モ臨場ヲ請ヒマシテ、種々攻究致シマシテ質問致シマシタ結果、委員會ハ三年間テ此六大城市ニ向シテ療養所ヲ設置セシムルト云フコトノ希望ヲ以テ、満場一致ヲ以テ可決致シマシタ、而シテ大藏政府委員ノ當局モ三年間テ遂行スルコトヲ極力努メル、斯ウ云フ政府ノ言明ガアツタノアリマス、此段御報告致シマス

○副議長(關直彦君) 御質問モ亦修正モアリマセヌカラ、第二讀會ヲ開クヤ否ヤノ決ヲ採リマス、第一讀會ヲ開クベシト云フニ御異議ハアリマセヌカ

○副議長(關直彦君) 御異議ガナイト認メマス、第二讀會ヲ開クコトニ決シマシタ

○中村啓次郎君 直チニ二讀會ヲ開キ二讀會ヲ省略シテ委員長報告ノ通り可決セラレンコトヲ望ミマス

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○副議長(關直彦君) 中村君ノ動議ニ御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○副議長(關直彦君) 御異議ガナケレバ本案ハ委員長報告ノ通り可決確定致シマシタ、次ハ日程第四及第五、此兩案ハ同一委員ニ付託セラマシタカラ、一括シテ議題トナサウト思ヒマス、印紙稅法中改正法律案、同ク印紙稅法中改正法律案ノ第一

讀會ノ續ヲ開キマス、委員長石黒磐君

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

第四 印紙稅法中改正法律案(中小路與平治君外一名提出) 第一讀會ノ續(委員長)

第五 印紙稅法中改正法律案(三谷軌秀君外五名提出) 第一讀會ノ續(委員長)

(石黒磐君登壇)

○石黒磐君 付託ニナリマシタ印紙稅法中改正法律案ノ委員會ノ經過及結果ヲ

ニ御報告致シマス、就キマシテハ印紙稅法中改正法律案ハ三案出テ居リマス、二案

ノ遼失フ、故ニ大キナ都市ニ向シテ政府ハ命令ヲ以テ療養所ヲ設置セシメ、施療デ入

院ヲセシメ肺結核ヲ防グ、斯ウ云フ意味ノ案デアルノアリマス、二回開キマシテ政府委員トハ質問應答ヲ重ネシタガ、此法律ノ文面ニハ表ハレテ居リマセヌケドモ、此法律ヲ

施行ス「斯ウ云フコトニナリマシテ、附則ノ方ガ「本法ハ大正三年四月一日ヨリ之修正ヲ致シマシタ、ソレカラ大正三年四月ト云フノヲ「大正四年四月一日ヨリ之ヲ

施行ス」斯ウ云フコトニ修正ヲ致シマシテ、茲ニ可決ヲ致シマシタ、其理由ハ產業法ニ於キ

マシテハ特ニ營業稅、或ハ所得稅ヲ免除ニナツテ居ルノニ、組合員中ニ取合ヒラスル通帳ニ印紙ヲ貼ルト云フコトハ、少シ保護ト云フ趣意ニハ背イテ來ハシナイカ、故ニ産業法

ノ精神ニ基イテ、此印紙モ免除スルコトが當然デアル、且ニ對シテハ政府委員ハ印紙稅ノ性質カラ御同意ハナイノデアルケレドモガ、保護ト云フ點並ニ一ノ團體デスル仕事デアリマスカラ、之ヲ免除スルコトヲ相當ト致シテ、委員會ハ全員一致ヲ以テ之ヲ可決致シマシタ次第アリマス、ソレカラ一ツ飛ビマシテ六十號ガ付託ニナシテ居リマスガ、更ニ六十三號ノ方ヨリ御報告ヲ致シマス、此六十三號ノ方ノ案ニ付キマシテハ、修正ハ字句等モ何等ノコトモ致サズ、原案ヲ此儘委員會ニ於テハ認メマシタ、政府ニ於キマシテモ是ハ達テノ反対ハナリ、議會ヲ通過シ又貴族院ヲ通過スルコトアレバ、斯ウ云フコトデ絶対ノ反対ハゴザイマセヌ、是ハ別段ニモウ説ク必要モナイヤウデゴザイマスガ、チヨウト此何ダケラ申上ゲテ置クト、印紙稅法中ノ第四條ト云フモノニ總テ一錢トカニ二錢トカノ印紙ヲ貼レトナシテ居ル、然ルニ物ト有價證券、商法ノ二百三十二條ニ在ル、之ニ對シテ印紙ヲ貼ルコトが列舉シテナイ、ソレ故ニ隨分脫稅ヲシヨロクノ事情ガゴザイマスカラ、ソコテ斯ウ云フ箇條ヲ加ヘテ僅カノ印紙稅ヲ貼ラシテ相當ニヤラシテ宜カラウ、ソレカラ第五條デチヨウト説イテ置キマゼンナラヌノハ「金高五圓未滿若クハ金高記載ナキ又ハ運送契約ニ依ラサル送狀」斯ウ云フコトが第五條カニアリマス、是ハドウ云フ事情ダト云フト、第四條ノ方ニ單ニ送狀ト云フモノガアル、送狀ニ對シテハ同ジクニ二錢ノ印紙ヲ貼ルコトニナシテ居ル、然ルトコロ第五條ニ來マシテ送狀全體ノモノデハナイ、制限ヲ加ヘマシテ即チ前ノ法律デハ運送契約ニ依ラザル送狀ト云フノハ、モウ一ツ範圍ヲ廣クシマシテ、即チ運送狀以外ノ送狀、チヨウト説キ惡イカ知リマセヌガ、即チ荷送人カラ運送者ニ向シテ直接ヤルノガ運送狀デアル、其以外ノモノニハ稅ヲ取ラナイ斯ウ云フコトニナリマス、ソレカラ下ノ方ニ於キマシテ委託賣買ニハ印稅ヲ貼ルケレドモ、普通ノ賣買仕切書ニハ印稅ヲ拂ハナイ、是ハ説明ハ先づ明瞭デゴザイマセヌ、是ハ満場一致ヲ以テ可決ヲ致シマシタ次第デ、其次ニ付託ニナシテ居ル六十號ヲ申シマスト、六十號ノ方ハ印紙稅法中ノ賣買仕切書ヲ全部削ル、斯ウ云フコトニナシテ居リマス、然ルニ唯今報告シマシタハ十二號デ委託賣買ニ依ルモノダケハ取除クコトニナシテ居リマスカラ、是が議決ニナリマシタ以上ハ、六十號ノ方ハ自然消滅、斯ウ云フコトニナシテ來マス、是ダケ委員會ノ結果ヲ報告致シマス

(政府委員管原通敬君登壇)

○政府委員(管原通敬君) 唯今委員長ヨリ御報告ニナリマシタ印紙稅法中ノ改正法律案中、二谷君等ヨリ御提出ニナリマシタ賣買仕切書及送狀ニ關スルモノニ付キマシテハ、課稅上疑義ノアル問題デアリマシテ、屢々官民ノ間ニ紛争ヲ惹起ス虞アルモノデアリマスカラ、其意義ヲ明確ナラシム必要上、其課稅範圍ヲ縮小スルト云フコトハ是付キマシテハ、政府ハ御同意致シ兼スルノデゴザイマス、御承知ノ通り印紙稅ナルモノハ、苟モ財產權ヲ證明スベキ帳簿書類デアリマシタナラバ、其作成スル人が何人アリマシテモ、官廳又ハ公署ヨリ發スルモノニ非ザル以上、總テ課稅スルト云フコトハ、今日印紙稅法ノ原則ニナシテ居ルノデゴザイマス、然ルニ產業組合ヨリ發スルモノナリトシテ、是

ニ對シテ課稅ヲ免除スルト云フコトニナリマスト云アト、獨リ印紙稅法ノ原則ヲ破リマスノミナラズ、或ハ同業組合ナリ、或ハ漁業組合ナリ、其他公益ヲ目的トシテ居ルトコロノ各種ノ法人ニ對シテモ、同様ノ取扱ヲ爲サナケレバナラヌト云フコトニナルノデアリマス、左様ニナリマスト云アト益免稅ノ範圍ヲ擴張シナケレバナラヌト云フコトニナルノデアリマス、然ラザレバ大ニ其權衡ヲ失スルト云フコトニナルノデアリマス、テ唯今委員長ヨリアルト云フコトヲ御述ベニナリマシタケレドモ、申スマデモナク營業稅ト所得稅ト竝ニ印紙稅トハ、各其性質ヲ異ニシテ居ルノデアリマシテ、營業稅又ハ所得稅ヲ免除シテ居ルモノニ對シテ、印紙稅ヲ課シテ居ルト云フコトハ、獨リ產業組合ノ場合ニ限ルノデハナノデアリマス、又或ハ產業組合ヨリ發スルトコロノ通帳ナルモノハ零碎ナル貯金ヲ爲ス場合ニ於ケルモノデアルガ故ニ、ソレニ對シテハ免稅スルガ相當ナルト云フヤウニモ、理由書ノ中ニ見エテ居ルノデアリマスガ、若シ左様ナ理由ヲ以テ免稅致スト云フコトニナレバ、獨リ產業組合ニ於ケル貯金通帳ノミナラズ、貯金銀行ニ於ケル貯金通帳ニ對シテモ免稅スルト云フコトニナラナケレバ、此間大ニ權衡ヲ失スルコトニナルノデゴザイマス、其他或ハ保險證券ナリ其他ノ證書帳簿ニ對シテモ印紙稅ヲ免除スルコトニナラヌケレバ、其間ニナル不權衡ヲ見ルト云フコトニナラウト思フノデアリマス、要スルニ產業組合ノ發達ヲ獎勵スルト云フ御趣意ニ付キマシテハ、固ヨリ異存ハナイノデゴザイマスケレドモ、斯様ナル印紙稅法ノ原則ヲ破リ各種ノ權衡ヲ失アト云フコトヲ致シテマデモ、此印紙稅ヲ免除シナケレバナラヌト云フコトハ如何テアラウカト思フノデゴザイマス、私共ノ見ル所ニ於キマシテハ此印紙稅ヲ課スルガタメニ、產業組合ノ發達ヲ阻害スルト云フ程度ニマテハ見ア居ラヌ、デアリマス、是等ノ理由ヲ以テ本案ニ反対ヲ致シマス

○副議長(關直彦君) 石黒磐君

(石黒磐君登壇)

○石黒磐君 唯今主稅局長が此產業組合法ノ通帳ヲ免稅ニスルト云フコトニ付テ反對ヲセラレタガ、甚ダ私ニハ解サレヌノデアリマス、ト云フノハ大體此印紙稅法ト云フモノノ性質ハ即チ權利關係ノタメニ用井ルモノガ多イノデアル、申ト乙トノ問ノ 内部ニ於テハ收稅が目的デゴザイマセウ、餅ナガラ表面ニ於テハ權利關係ヲ明カニスルが即チ印紙稅法ノ本意デアラウト私ハ思フ(拍手起立)ソレテ此產業組合法ニ付テ政府が此ノ如キコトヲ言ハレルノハ甚ダ私ハ其意ヲ得ヌ、何トナレバ大體織物稅ノ例ヲ私ハ引キマス、テゴザイマスガ、中小路君等ヨリ御提出ニナリマシタコロノ產業組合ヨリ發スル通帳ニ付キマシテハ、政府ハ御同意致シ兼スルノデゴザイマス、御承知ノ通り印紙稅ナルモノニ看做シテ居ルカラデアル、シマスルト此印紙ハ產業——成程理由書ハ不完全デアル、理由書ハ取ラヌ、保護ト云フ點ト一方ハ家族的ノモノデアルカラ家族的ノモノニ印紙ヲ貼テ權利證明ナドハ必要ガナイノデアル、是ガ即チ私が政府者ノ議論ヲ聽カナ

所以ニアリマス、チヨット説明ヲシテ置キマス(拍手起ル)

○副議長(關直彦君) 他ニ御異議モアリマセヌカラ(直ニ二讀會ヲ開カレントラ希望ミマス)ト呼フ者アリ)

〔「ヒヤー」ト呼フ者アリ〕

○副議長(關直彦君) 印紙稅法中改正法律案第五十七號、中小路與平治君

外一名提出、本案ニ付テ二讀會ヲ開クベシト云ソニ御異議ハアリマセヌカ

〔「異議ナシ異議ナシ」^ノ聲起ル〕

○副議長(關直彦君) 御異議ハナイト認メマス、第一讀會ヲ開クコトニ決シマス

報告通リ二讀會ヲ省略シテ可決セラレントラ希望ミマス

〔「異議ナシ異議ナシ」^ノ聲起ル〕

印紙稅法中改正法律案(仲小路君外一名提 第二讀會(確定議)

出)

○副議長(關直彦君) 中村君ノ動議ノ如ク直ニ二讀會ヲ開キ二讀會ヲ省略シテ委員長報告通り可決確定スルニ御異議ハアリマセヌカ

〔「異議ナシ異議ナシ」^ノ聲起ル〕

○副議長(關直彦君) 御異議ナイト認メマス、仍テ本案ハ委員長報告通り可決確定スルニ御異議ハアリマセヌカ

○副議長(關直彦君) 御異議ナイト認メマス、仍テ本案ハ委員長報告通り可決確定スルニ御異議ハアリマセヌカ

〔讀長奧繁三郎君登壇〕

(讀起ル)

○議長(奥繁三郎君) 諸君、私ハ唯今議院法第三條ニ依リマシテ衆議院議長ノ大

命ヲ拜シマシテゴザイマス、御承知ノ如ク德無ク才無ク、殊ニ議院ノ典例ニ暗イ私ガ此

大任ヲ拜シマシタノデ、洵ニ恐懼ニ堪ヘマセヌ次第アゴザイマス、私ハ議院法並ニ規則

等ニ遵ヒマシテ最モ公平ニ其職責ヲ竭シタイ考デゴザイマス、願クハ諸君ノ御同情ト御

援助ニ依リマシテ、其職責ヲ竭スコトヲ希ヒマスデゴザイマス、茲ニ諸君ノ御厚意ヲ感謝致シマシテ御挨拶ヲ申上ゲマス(拍手起ル)

○長谷川敬一郎君 議長(關直彦君) 長谷川君

○長谷川敬一郎君 是ヨリ私ハ諸君ニ代シテ議長ニ御挨拶ヲ申上ゲマス、奥繁三郎

君ハ此度多數ノ推薦ニ依リマシテ議長ニ御任命ヲセラレマシタ、洵ニ吾ミ一同ノ満足スル所デゴザイマス、閣下ハ多年本院ノ議員トシテ盡瘁セラレ、今又議長トナラレマシタニ付キマシテハ勿論此職責ヲ竭サル、上ニ於テ、最モ公平無私ニシテ、議場ニ臨マレルニハ

一視同仁ナルコトハ吾ニ信シテ疑フ容レヌ所デゴザイマス、茲ニ一言御挨拶ヲ申上ゲテ置キマス(拍手起ル)

○副議長(關直彦君) 引續キマシテ會議ヲ開キマス、二谷軌秀君外五名提出、印紙稅法中改正法律案ノ第一讀會ヲ開クベシヤ否ヤヲ採決致シマス

置キマス(拍手起ル)

○副議長(關直彦君) 印紙稅法中改正法律案第一讀會ノ續ヲ開キマス——委員長瀧田千之助君

〔「異議ナシ異議ナシ」^ノ聲起ル〕

第六 運河法中改正法律案(齊藤珪次君 第一讀會ノ續(委員長))

○副議長(關直彦君) 中村君ノ動議ニ御異議ハナイト認メマス、仍テ本案ハ委員長報告通り可決確定致シマシタ——日程第六、運河法中改正法律案第一讀會ノ續ヲ開キマス——委員長漆昌巖君

○漆昌巖君 簡單テゴザイマスカラ此席カラ御報告申上ダマス

○副議長(關直彦君) 宜シウゴザイマス

○漆昌巖君 此運河法ト云フモノハ昨年發布ニナリマシタ運河法モゴザイマスガ、其以前ノ即チ舊太政官布告ニ基イテヤダテ居リマスモノハ、原資償却ヲ目的トシ使用料ノ徵收ヲ免許ヲ受ケタル運河ハ、均シクサウ云フコトノ均霑ヲ受ケ得ラル、ヤウニ改正致シタモノニアリ

設鐵道會社等ノ財團が自由ニナシ得ルコトニナシテ居リマス、然ルニ其以前ニ發布セラレタモノニ依テ免許ヲ受ケタル運河ハ、均シクサウ云フコトノ均霑ヲ受ケルコトガ出來マセヌ故ニ、昨年發布ニナッタ運河法ト均シク均霑ヲ受ケ得ラル、ヤウニ改正致シタモノニアリマス、ソレア附則ノ二十一條ノ次ニ第二十二條ノ本法ノ適用ヲ受クル運河ノ用地ニシテ免許條件ニ依リ官有ニ歸屬シタルモノハ之ヲ運河經營者ニ下付スルコトヲ得」ト云フ

コトヲ加ヘマシタ、即チ是マテ官有ニ屬シテ居ラタモノヲ經營者ガ申請スレバ下附スルコトヲ得ト云フヤウニ改正致シタノアリマス、政府モ至極之ヲ相當ナリトシテ政府委員ハ同

意致サレマシタ、又委員會ハ全會一致ヲ以テ可決致シマシタ、此段御報告致シマス

○副議長(關直彦君) 本案ノ第一讀會ヲ開クニ御異議ハアリマセヌカ

〔「異議ナシ異議ナシ」^ノ聲起ル〕

○副議長(關直彦君) 御異議ハナイト認メマス、依テ第一讀會ヲ開クベシト決定致シマス

○中村啓次郎君 直ニ第二讀會ヲ開キ二讀會ヲ省略シテ委員長報告通り可決セラレントラ希望ミマス(拍手起ル)

○副議長(關直彦君) 運河法中改正法律案

〔「贊成々々」^ノ聲起ル〕

○副議長(關直彦君) 中村君ノ動議ニ御異議ハアリマセヌカ

〔「異議ナシ異議ナシ」^ノ聲起ル〕

第二讀會(確定議)

○副議長(關直彦君) 御異議ハナイト認メマス、直ニ二讀會ヲ開キ二讀會ヲ省略シテ委員長報告通り可決確定致シマス、次ハ日程第七、奈古浦丸ノ所有者數恤ニ開キマス——委員長瀧田千之助君

第七

奈古浦丸ノ所有者救恤ニ關スル法律
案(請願委員長提出) 第一讀會ノ續(委員長)

(横田千之助君登壇)

○副議長(關直彦君) 御異議無イト認メマス、仍テ直ニ第一讀會ヲ開キ、三讀會ヲ省略シテ委員長報告通り確定スルコトニ御異議アリマセヌカ

(異議ナシ異議ナシノ聲起ル)

○横田千之助君 諸君、奈古浦丸所有者救恤ニ關スル法律案ノ委員會ノ經過及結果ヲ簡單ニ御報告致シマス、本案ハ請願委員長ヨリ提出ニ係ルモノニアリマシタガ、先日ノ會議ニ於テ、一人一行爲ニ對シテ一ノ法律ヲ作ルノハ、立法上ノ形式トシテ聊カ考慮ヲ要スルト云フ反對論が出タノニアリマス、法律ノ力ニ依テ此事柄ヲ救濟スルト云フ其實質上ノ問題ニ付テハ、總テノ方面ニ於テ一致シテ居ルノアルガ、唯如何ナル形式ニ依テ此法律ヲ編成シ法ノ缺陷ニ依テ損害ヲ被ヅテ居ル人ヲ救濟スルカト云フ

コトガ問題ニナシタノニアリマス、此ニ於テ委員會ハ此本會議が委員會ニ移サレタルトコロノ精神ヲ深ク體シテ、二回調査ノ結果、法律ノ力ニ依テ此事柄ヲ救濟スルヨリ外ニ途

ハナイト云フコトニ、各派ヨリ選バレタル委員諸君ガ一致シタノニアリマス、而シテ之ヲ法律ニスル上ニ於テハ其題名ヲ變ヘナケレバナラズ、即チ奈古浦丸所有者救恤ニ關スル法律案ト云フ題目ヲ、明治二十七八年戰役ノ爲メ損害ヲ被リタル者ノ救恤ニ關スル法律案ト云フコトニ改メタノニアリマス、而シテ其第一條ヲ「明治三十七八年戰役ノ際陸軍徵發内命ニ基キ航行中敵艦ノ爲メ損害ヲ被リタル船舶又ハ其積荷ノ所有者ニ對

シ本法ニ依リ救恤金ヲ下付ス」斯ウ云フコトニ改メマシタ、此法律ノ要望スル要件ニ適合シタ人ニハ、獨リ奈古浦丸所有者ニ限ラズシテ、ヤハリ救恤ヲ求ムルコトガ出來ルト云フコトニ一般的ニ改メタノニアリマス、サウシテ尙此原案ニアル船舶ハカリデナク、積荷ノ所有者ニ對シテモ尙救恤金ヲ與フルト云フコトニ訂正致シマシタ、其第二條ハ「前條ノ教恤金ハ四萬圓トス」ト云フノヲ「六萬圓以内トス」ト改メマシタ、第三條ヲ更ニ附加ヘマシテ「本法ニ依リ救恤金ヲ受ケントスル者ハ大正三年七月三十一日マテニ申請スヘシ」尚附則ヲ加ヘ「本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス」ト云フコトニ訂正致シマシタ、其第二條ハ「前條ノ教恤金ハ四萬圓トス」ト云フノヲ「六萬圓以内トス」ト改メマシタ、第三條ヲ更ニ附加ヘマシテ「本法ニ依リ救恤金ヲ受ケントスル者ハ大正三年七月三十一日マテニ申請スヘシ」尚附則ヲ加ヘ「本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス」ト云フコトニ訂正致シマシタ、又第八ノ「社寺土地云々」ト云フコトニ除キマシテ、今日ハ之ヲ削除スルコトニ致シマシタ、又第八ノ「社寺土地云々」ト云フコトニアリマス所ノ「地上權ト認ムヘキモノ」ト云フモノヲ、所有權ノ取戻ト云フコトニ當翁メルノハ少シ穩當ヲ缺クモノニアリマスカラ、此事ハ他日研究シテ、別ニ法律案ヲ出スコト、致シマシテ、今日ハ之ヲ削除スルコトニ致シマシタ、又第八ノ「社寺土地云々」ト云フコトニ入會地ニシテ國有ト認ムヘカラサルモノ」ト云フコトヲ入レルコトハ反對アル、其事ハ此下戻ニ關シテハ、齋ニ相當ノ期限ヲ定メテ此ノ申請ノコトヲ許シタニ拘ラズ、其間ニ申請ヲシナイモノハ、是ニ自ラ其權利ヲ放棄シタモノニアルカラシムルトコロノ法案例トコロノ損害ダケヲ救濟セズト云フコトハ、非常ナル偏頗ナコトニナル、斯ウ云フ意味合カラ皆ヘタ法律ニアリマスカラシテ、本案ハ僅カ二條デゴザイマスガ、要スルニ法ノ缺陷ノ爲メニ損害ヲ被ムテ、損害ヲ求ムルニ所ナシト云フ民ノ怨嗟無カラシムルトコロノ法案例アルノニアリマス、此意味ハ各派ヨリ選バレタルトコロノ各委員三能ク徹底致シマシテ、満場一致ヲ以テ可決シタモノニアリマスカラ、何卒御賛成アランコトヲ希望致シマス

○副議長(關直彦君) 通告ガアリマセヌカラ採決致シマス、本案ノ第二讀會ヲ開クベシト云フニ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシ」ノ聲起ル)

○副議長(關直彦君) 御異議無イト認メマス、仍テ第一讀會ヲ開クコトニナリマシタ○中村啓次郎君 直チニ二讀會ヲ開キ、三讀會ヲ省略シテ委員長報告通り可決セラレント望ミマス

(「賛成」ト呼フ者アリ)

第一讀會(確定讀)

第二讀會(確定讀)

○副議長(關直彦君) 御異議ナイト認メマス、仍テ委員長報告通り確定致シマシタ

(拍手起ル) 次ハ日程第八、國有土地森林原野下戻法中改正法律案ノ第一讀會ノ續ヲ開キマス——委員長關信之介君

第八 國有土地森林原野下戻法中改正法 第一讀會ノ續(委員長)

(關信之介君登壇)

○關信之介君 國有土地森林原野下戻法中改正案ノ委員會ノ經過及ヒ結果ヲ御報告致シマス、本案ニ付キマシテハ兩度委員會ヲ開キマシテ、政府委員ノ出席ヲ未メマシテ、政府委員ト數回應答ノ結果、諸君ノ御手許ヘ御配付致シマシタ通リ、第一條ノ次ノ同條第二項中「未定地脫落地」ノ下ニ「地上權ト認ムヘキモノヲ加フ」ト云フ一項ヲ除キマシテ、其次ニ「第二條ニ左ノ「一號」ヲ「左ノ一號」ト致シ、第八ノ「社寺土地云々」ト云フコトニ除キマシテ、此削除シタ所以ハ、改正案ノ第二項シテ朱黒印地ニ非サルモノ」之ヲ削除致シマシタ、又第八ノ「社寺土地云々」ト云フコトニアリマス所ノ「地上權ト認ムヘキモノ」ト云フモノヲ、所有權ノ取戻ト云フコトニ當翁メルノハ少シ穩當ヲ缺クモノニアリマスカラ、此事ハ他日研究シテ、別ニ法律案ヲ出スコト、致シマシテ、今日ハ之ヲ削除スルコトニ致シマシタ、又第八ノ「社寺土地云々」ト云フコトニ入會地ニシテ國有ト認ムヘカラサルモノ」ト云フコトヲ入レルコトハ反對アル、其事ハ此下戻ニ關シテハ、齋ニ相當ノ期限ヲ定メテ此ノ申請ノコトヲ許シタニ拘ラズ、其間ニ申請ヲシナイモノハ、是ニ自ラ其權利ヲ放棄シタモノニアルカラシムルトコロノ法案例トコロノ損害ダケヲ救濟セズト云フコトハ、非常ナル偏頗ナコトニナル、斯ウ云フ意味合カラ皆ヘタ法律ニアリマスカラシテ、本案ハ僅カ二條デゴザイマスガ、要スルニ法ノ缺陷ノ爲メニ損害ヲ被ムテ、損害ヲ求ムルニ所ナシト云フ民ノ怨嗟無カラシムルトコロノ法案例アルノニアリマス、此意味ハ各派ヨリ選バレタルトコロノ各委員三能ク徹底致シマシテ、満場一致ヲ以テ可決シタモノニアリマスカラ、何卒御賛成アランコトヲ希望致シマス

○副議長(關直彦君) 通告ガアリマセヌカラ採決致シマス、本案ノ第二讀會ヲ開クベシト云フニ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシ」ノ聲起ル)

得セシムルノテタルカラ、政府が反対シ理由ト反対ニ此法律ノ爲ニ公平ヲ得ルコトデ

アルカラ、政府ノ此法案ニ付テノ反対ハ甚ダ理由ノ無イモノニアリマス、又立會地ニシテ
國有ト認ムベカラサルモノ即チ民有ニアッタナラ返スノ當然デアル、國家ハ之ヲ返シテ
所ガ少シモ差支ナイモノニアリマスカラ、委員會ニ於テハ全會一致ヲ以テ可決致シマシ
タ、此段御報告致シマス

(政府委員岡本英太郎君登壇)

○政府委員(岡本英太郎君) 遺憾アゴザイマスケレドモ本改正案ニ反対アゴザイマス、
斯ニ本改正案ノ要點ハ申上ゲルマデモナク一點デゴザイマシテ、第一ハ下戻申請期間ヲ

延長スルト云フコトデゴザイマス、其理由ト致シマシテハ委員長ヨリ御報告ニナリマシタ

ガ、政府ニ於キマシテハ此下戻申請期間ハ決シテ短クナカッタ考ヘテ居ルノデゴザイマス、
此事ニ付キマシテハ嚮ニ同様ノ改正案ガ出マンシトキニ言明シテ居ル通リアゴザイマシ
テ、即チ地租改正以後下戻法ノ發布ニナリマスモ、其間約二十年間ニ於キマシテ、
農務省ノ訓令ナリ省令ニ依テ其地租改正當時ノ處分ノ誤謬ヲ訂正シ來ツタノデアリ
マス、假令下戻法ニ於テ其期限ヲ限局致シテ居リマシテモ、其誤謬ノ訂正ノ申請ハ實
質ニ於キマシテ、地租改正ノ當時ヨリヤリ來ツタモノニアリマスカラ、決シテ短クナカッタ
考ヘテ居ルノデゴザイマス、而已ナラズ今日ハ既ニ下戻ノ申請事件ニ結了致シテ居ル際
テゴザイマスノデ、再ヒ此期限ヲ延長致サレマスコトニナリマスレバ、今日著々進行致シテ
居リマス所ノ國有林野ノ經營上ニ甚大ノ支障ヲ來スノデゴザイマス、決シテ短クナカッタ
號ヲ御追加ニナリマシテ「入會地ニシテ國有ト認ムベカラサルモノ」ト云フコトヲ加ヘラル
ルコトニナリマシタ、御承知ノ通ニ立會地ト云フモノハ其權利ノ内容ニ立入シテ見マス
レバ、其狀態ハ一ソデナクシテ、多様ニナツテ居ルコトデゴザイマシテ、假令入會地デアル
コトガ分リマシテモ、直チニ地盤マデモ其所有權ガアッタ云フコトヲ認メルコトハ出來ナ
イノデアリマス、地租改正當時ノ扱ヒヲ見マシテモ、其入會地ニシテ慣行成績が顯著デ
ゴザイマシテ、民有ト認ムベキモノハ民有ニナツテ居ル筈アゴザイマシテ、其官有ニ歸シマシ
タモノハ、地上ノ毛上權ヲ採取スルニ止マルモノガナツテ居ルノデアリマス、然ルニ本法ニ
依リマシテ入會關係アルモノハ直チニ地盤ノ所有權アリトシテ、反證ナキ限りハ下戻スト
マス

○副議長(關直彦君) 他ニ通告モアリマセヌ、依テ本案ノ決ヲ採リマス、本案ニ對シ

テ第二讀會ヲ開クベシト云フノ說ニ御異議ガアリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○副議長(關直彦君) 中村君ノ動議ニ御異議ガナイト認メマス、直ニ二讀會ヲ開キ
三讀會ヲ省略シテ委員長報告通可決確定スルト云フコトニ御異議ガアリマセヌカ

シタ
レントラ望ミマス

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○副議長(關直彦君) 中村君ノ動議ニ御異議ガナイト認メマス、直ニ二讀會ヲ開キ
三讀會ヲ省略シテ委員長報告通可決確定スルト云フコトニ御異議ガアリマセヌカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ

國有土地森林原野下戻法中改正法律案 第一讀會ノ續

第一讀會(確定議)

○副議長(關直彦君) 御異議ガナイト認メマス、依テ委員長報告通リ確定致シマシ
タ、次ハ日程ノ第九、不動產登記法中改正法律案ノ第一讀會ノ續ヲ開キマス三谷

軌秀君

(不動產登記法中改正法律案(三谷) 第一讀會ノ續(委員長)
第九 軌秀君提出)

第一讀會ノ續(報告)

(三谷軌秀君登壇)

○三谷軌秀君 本案ノ委員會ノ經過及結果ヲ御報告致シマス、本案ニ付キマシテハ
委員會ハ二回開キマシテ、御手許ニ差上グマシタ如ク修正可決スルコトニ決シマシタ、
本案ノ趣意ハ法人ノ合併ニ因ル登記ヲ相續ノ場合ト同一手續ニスルト云フ趣意デアリ
マス、其理由ハ不動產登記ハ其原則トシテ登記義務者及登記権利者ガ申請セんケレ
バナラヌト云フ規定ニナツテ居ル、権利者ノミニヨリ申請スル場合ハ法律ニ規定ヲ要スト
云フコトニナツテ居リマス、即チ二十七條ニハ判決又ハ相續ニ因ル登記ニ付テハ、登記
権利者ノミニヨリ申請スルコトヲ得ルト云フコトニナツテ居リマス、法人ノ合併ノ場合ハ此
處ニ規定シテナシガ爲ニ、此登記手續上困難ヲ生ジタコトハ屢々實例ガアルノデアリマ
ス、之ヲ正サンガ爲ニ二十七條ト百五條ノ一箇條ヲ改正セントスルノガ本案ノ條項ニア
リマシタ、委員會ニ於キマシテ審査ノ結果、此趣意ヲ貫徹スルニ付テハ、尙他ニ改正ヲ
要スル箇條ガアルト云フコトヲ發見致シマシタ、即チ二十八條ノ二ノ滯納處分ニ因ル差
押登記ヲ嘱託スル場合ノ箇條、ソレカラ四十一條ノ登記ノ原因ヲ生ズル書面ニ關スル
箇條四十二條中ノ登記ノ權利者又ハ登記ノ義務者ノ相續人ニ關スル箇條、百二條ノ
三中ノ既登記ノ土地が河川ノ敷地トナツタ場合ニ其抹消登記ヲ嘱託スル場合ニ關スル
規定、百二條中ノ土地收用法ニ依テ收用セラレタ場合ニ起業者ノ登記ヲ申請スル場
合ノ箇條、百六條中ノ建物ノ所有權登記ヲスル場合、其敷地が被相續人ノ所有トシ
テ土地臺帳ニ記載セラレタル場合ニ關スル箇條、以上ノ六箇條ヲ相續ノ場合ト同様
ニ法人合併ノ場合ニ適用ノ出來ルヤウニ改正シナケレバ、本改正ノ目的ヲ達スルコトガ
出來ナイト云フ爲ニ、以上ノ箇條ヲ改正セントスル即チ本案ノ修正ヲ致シタノデアリマ
ス、委員會ニ於キマシテハ全會一致ヲ以テ可決ヲ致シマシタ、政府委員會ハ從來精神解
釋ニ依テ相續ノ場合ト同一ノ取扱ヲセントスルモノニアッタノデアル、今本案ノ如ク改
正スレバ事明確トナツテ、登記手續上ノ疑惑ヲ避ケル譯ニアツテ、本案ハ至極適當デア
ルト云フコトデ政府ハ贊成セラレタノデアリマス、此段御報告致シマス

○副議長(關直彦君) 本案ニ付テモ別ニ通告ガアリマセヌ、依テ採決致シマス、本案
ヲ二讀會ニ移スベシト云フニ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○副議長(關直彦君) 御異議ナイト認メマス、第一讀會ニ付スコトニナリマシタ
レントラ望ミマス

〔「賛成々々」ト呼フ者アリ〕

○副議長(關直彦君) 中村君ノ動議ニ御異議ナイモノト認メマス、依テ直ニ二讀會ヲ開キ二讀會ヲ省略シテ委員長報告通り可決確定スルニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

不動産登記法中改正法律案

第一讀會(確定議)

○副議長(關直彦君) 御異議ガナイト認メマス、依テ委員長報告通り可決確定致シマシタ、次ハ日程ノ第十乃至十二ノ議案ハ關聯セル議案デ且ツ提出者モ同一ニアリマスカラ、一括シテ議題トナスコトニ御異議アリマセヌカ
讀會ヲ開キマス、提出者松田源治君

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○副議長(關直彦君) 御異議ガナケレバ、一裁判所構成法及辯護士法ヲ臺灣ニ施行スルノ法律案、一明治二十九年法律第三十一號中改正法律案、一行政裁判法及訴願法ニ關スル法律ヲ臺灣ニ施行スルノ法律案、此三案ヲ一括シテ議題トシ第一讀會ヲ開キマス、提出者松田源治君

第十 裁判所構成法及辯護士法ヲ臺灣ニ施行スルノ法律案 第一讀會

裁判所構成法及辯護士法ヲ臺灣ニ施行スルノ法律案

第一條 裁判所構成法及辯護士法ハ之ヲ臺灣ニ施行ス

第二條 臺灣臺北ニ臺灣控訴院、臺北地方裁判所、臺北區裁判所ヲ置キ同島宜蘭ニ宜蘭區裁判所ヲ置キ同島臺中ニ臺中地方裁判所、臺中區裁判所ヲ置キ同島臺南ニ臺南地方裁判所、臺南區裁判所ヲ置ク

第三條 裁判所位置及管轄區域表中函館控訴院欄ノ次ニ左ノ一欄ヲ加フ

| 臺灣 | | 臺北 | | 宜蘭 | | 臺中 | | 臺灣 | | 嘉義廳 | | 臺南廳 | | 花蓮港廳 | | |
|----|---|----|---|----|---|----|---|----|---|-----|---|-----|---|------|---|--|
| 臺 | 南 | 臺 | 北 | 臺 | 北 | 臺 | 中 | 臺 | 南 | 臺 | 南 | 臺 | 南 | 臺 | 南 | |
| 臺 | 中 | 臺 | 中 | 臺 | 南 | 臺 | 南 | 臺 | 北 | 臺 | 南 | 臺 | 南 | 臺 | 北 | |
| 海 | | | | 國 | 管 | 廳 | 堡 | 街 | 轄 | 庄 | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | |

前項ノ判官、檢察官ノ在職年數ハ裁判所構成法第六十九條第七十條ノ年數ニ之ヲ通算ス

第七條 本法施行ノ際在職ノ臺灣總督府法院書記ハ裁判所構成法第八十九條ノ要件ニ拘ラス裁判所書記ニ任セラルコトヲ取

第八條 臺灣ニ於ケル執達吏ノ職務ハ當分ノ内區裁判所書記ヲシテ之ヲ取扱ハシム

第九條 本法施行ノ際臺灣地方法院所屬辯護士タルモノハ辯護士法第二條第二號ノ條件ニ拘ラス辯護士タルコトヲ得

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第十一 明治二十九年法律第三十一號中改正法律案 第一讀會

第一條 中「事項」ヲ「事項ニシテ臺灣ニ特別ナルモノ」ニ改メ同條ニ左ノ但書ヲ加フ

明治三十九年法律第三十一號中左ノ通改正ス

但シ司法裁判、民事、刑事及監獄ニ關スル事項ニシテ臺灣ニ特別ナルモノニ付

第四條ニ左ノ一項ヲ加フ
司法裁判、民事、刑事及監獄ニ關スル事項ニシテ臺灣ニ特別ナルモノニ付
テハ前項ノ勅令ヲ以テ特別ノ規定ヲ爲スコトヲ得

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム
現行ノ律令ハ勅令ヲ以テ之ト抵觸スル規定ヲ爲スモノノ外其ノ效力ヲ存ス

第十二 行政裁判法及訴願法三關スル法律ヲ臺灣ニ施 行スルノ法律案 第一讀會

行政裁判法及訴願法ニ關スル法律ヲ臺灣ニ施 行スルノ法律案

第一條 明治二十三年法律第四十八號行政裁判法明治二十三年法律第一百五

號訴願法及明治二十三年法律第一百六號行政廳ノ違法處分ニ關スル行政裁判ノ件ハ之ヲ臺灣ニ施行ス

第二條 行政裁判法及訴願法中各省大臣又ハ内閣直轄官廳ノ處分ニ關スル規定ハ臺灣總督又ハ臺灣總督府直轄官廳ノ處分ニ準用シ各省又ハ内閣ニ關スル規定ハ臺灣總督府ニ之ヲ準用ス

附則

本法ハ大正三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

(松田源治君登壇)

○松田源治君 本案ハ第一案が裁判所構成法及辯護士法ヲ臺灣ニ施行スル法律案、是ハ裁判所構成法及辯護士法ヲ臺灣ニ施行スル法律案、是ハ裁判所構成法及辯護士法ヲ臺灣ニ施行スル法律案、明治三十九年法律第三十一號中

官報號外

大正三年三月十八日

衆議院讀事速記録第二十五號

裁判所構成法及辯護士法ヲ臺灣ニ施行スル法律案、明治三十九年法律第三十一號中

行政裁判法及訴願法ニ關スル法律案、明治三十九年法律第三十一號中

第一讀會

五八五

ゴザイマス、ソレカラ第一ハ裁判所構成法ヲ臺灣ニ施行スル結果ハ三デス、今アヘ三十
一號ト云フ法律ニナシテ居リマスルが、此中ヲ改正シナケレバナラズ、即チ臺灣總督ニ立
法ヲ委任スル權利ヲ與ヘテ居ル、即チ律令ヲ以テ立法ニ代ル所ノ規定ヲ爲スコトが出來
ルノデアリマス、其法律ヲ改正シテ臺灣ニ特別ナルモノ、ミ臺灣總督ニ委任立法ヲスル、
併シ臺灣ニ特別ナルモノデアッテモ、司法裁判民事刑事及監獄ニ關スル事項ハ此ノ限
ニ在ラズ、是ハ委任立法ヲシナイ、ソレカラ之ヲ委任立法ヲシナイ結果、臺灣ニ特別ナル
モノガアリマスト必ズ法律ア規定シナケレバナラヌト云フコトハ、頗ル不都合ナ事ヲ生ジ
マスルカラ、臺灣ニ特別ナルモノニ付テハ、勅令ニ委任シテ特別ノ規定ヲ設ケシメル、是
ガ第一「案デゴザイマス、第三案ハ行政裁判法ト及ヒ訴願法ニ關スル法律ヲ臺灣ニ施
行スル法律、是が第二案デアリマス、本案ハ總テ政黨派ノ問題ニ非ズシテ、國民
ノ權利ノ消長ニ關スル重大ナル問題デアリマス、總テ立憲國ニ於キマシテハ、國民ノ裁
判ナルモノハ行政官ヨリ獨立シテ居ル、獨立ノ地位アル終身官タル所ノ司法官ガ裁判
スルノが原則デアルノデゴザイマス、申迄モナク憲法第五十七條ニ「司法權ハ天皇
ノ名ニ於テ法律ニ依リ裁判所之ヲ行フ裁判所ノ構成ハ法律ヲ以テゾ定ム」是が憲法
ノ通義デアリマシテ、行政官ヲシテ裁判ヲ爲サシメルト云フコトハ此變例デアルノデアリマ
ス、然ルニ臺灣ニ於キマシテハ領有既ニ二十年ノ今日、臺灣ノ裁判官ハ律令ヲ以テ規
定シテ居ルトコロノ臺灣總督府ノ法院條例ニ依リマシテ、獨立ノ地位ノ無イ即チ總督
ニ直屬シテ居ルトコロノ行政官ノ性質ヲ帶ヒテ居ル裁判官ガ裁判ヲ爲スト云フコトハ、
臣民ノ權利ノ伸長ニ付テ至大ナル關係ガ生ズルト私ハ思フノデゴザイマス、殖民地ノ制
度ニ於キマシテハ、外國ニ於キマシテモ種々制度ガアリマス、總
テ違ツテ居リマスルケレドモ、獨立ノ裁判官ヲシテ裁判セシメナシ、行政官ノ性質ヲ帶ヒ
テ居ルトコロノ司法官ヲシテ裁判ヲセシムルトコロノ例ハ甚ダ少ナインテアリマス、英國ノ
如キハ植民地ニ於キマシテモ、確カニ行政官ト司法官ト云フモノハ、注意ヲシテ是ハ截
然トシテ區別ラシテ居ルノデアリマス、サウシテ獨立ノ地位ヲ與ヘ終身官ノ地位ヲ保證
致シテ居ル者ガ裁判ヲ致シテ居ルノデゴザイマス、獨逸ノ如キハ英國ノ如ク截然行政官
ト司法官ノ地位ヲ區別シテハアリマセヌケレドモ、裁判官トシテ裁判ヲ爲ス時分ニハ、行
政官ノ直屬デナク行政官ノ干涉ヲ排斥シテ自由ノ地位ヲ與ヘ獨立ノ地位ヲ與ヘテ裁
判ヲセシムテ居ルノデアル、然ルニ我臺灣ノ法例ニ於キマシテハ、今日ニ於テハ獨立ノ地
位ノナシ、何時ニテモ臺灣總督府ヨリ必要ノアル場合ニハ休職ヲ命ゼラル、トコロノ裁
判官ガ裁判ヲシテ居ル、是ハ憲法下ニ於テアルベカラザルトコロノ私ハ事デアルト考ヘ
ルノゴザイマス、諸君モ御承知ノ通り昨年臺灣ニ於テ陰謀事件アリ、朝鮮ニモ陰謀
事件ガアッタ、而シテ此朝鮮臺灣ニ於ケル陰謀事件ガ其審理ニ付テ内外ノ疑惑ヲ招イ
上告ニ付テモニ二審制度——日本ノ内地ノ大審院ニ上告ヲ許ス、是ハ當然ノ結果デアラ
ウト思フ、今日ハ内地ノ臣民デアッテモ臺灣ニ行ツテ居内地ノ臣民ハ、裁判所構成法ノ
保護ヲ受ケズシテ、二審が終審デ全ク法律ヲ統一スルトコロノ、大審院ノニ審ニ上告スル

コトが出來スト云フコトハ、人民ノ權利ヲ私ハ侵害シテ居ル行為ナリト申サナケレバナラ
ムト思フノデゴザイマス、故ニ裁判所構成法ヲ施行シマシテ、臺灣ノ土人ニモ内地ノ臣民
ニモ、盡ク獨立シテ居ルトコロノ裁判官ノ裁判ヲ受ケシメ、又法律ヲ統一スルトコロノ大
審院ニ上告スルノ權利ヲ與ヘタイト云フノガ本案ノ趣旨デアルノデアリマス、又行政裁
判法及訴願法ヲ臺灣ニ施行スルノハドウ云フ譯カト申シマスレバ、憲法六十一條ニハ
「行政官廳ノ違法處分ニ由リ權利ヲ傷害セラレタリスルノ訴訟ニシテ、別ニ法律ヲ以
テ定メタル行政裁判所ノ裁判ニ屬スヘキモノハ司法裁判所ニ於テ受理スルノ限ニ在ラ
ス」行政官廳ノ違法處分ニ依テ臣民ノ權利ヲ傷害セラレタル者ニ於テハ、行政訴訟ヲ許
スト云フコトハ是亦立憲國ノ通義デアルト考ヘ、今日臺灣ノ臣民ハ如何ニ行政官廳
カラ權利ヲ躊躇サレ、權利ヲ傷害サレテモ、之ヲ訴フルトコロノ道ガナイノデアル、訴訟
ヲ起スコトモ出來ナケレバ、訴願ヲ起スコトモ出來ナイ、唯哀訴嘆願シテ上局官廳ニ憐
ミヲ乞フト云フトコロノ奴隸ノ状態デアルト言ハナケレバナラズ、此奴隸ノ状態ヨリ救ヒ
マシテ而シテ行政官廳が臣民ノ權利ヲ傷害シタル時分ニハ、憲法ニ與ヘラレタル權利ニ
依テ之ヲ行政裁判所ニ訴ヘル道ヲ開クト云フコトガ、是亦臣民ノ權利ノ上ニ於テ最モ
私ハ必要ノコトデアルト考ヘルノデアリマス、斯ノ如キ問題デアリマスカラ、ドウカ諸君ハ御
贊成ノ上本案ノ通過セラレンコトヲ私ハ希望致シマシテ此壇ヲ降ルノデアリマス
○横田千之助君 質問ガアリマス、提案ノ御精神へ深ク了解致シマシタガ、其御精神
ヲ擴充シテ寧ロ我國法同シ習慣ヲ持ツテ居ツク朝鮮ノ領土マテ、此法案ヲ施行スルト
云フコトヲ御示シニナラナカッタノハ、何カ意味ガアルノデスカ

○松田源治君 ソレデスカ

○横田千之助君 マダアリマス、一緒ニヤリマセウカ——ソレカラ今一ツハ臺灣ニ於テ
ハ法律制定ノコトニ付テ既ニ委任立法ノ性質ニナシテ居ル、即チ臺灣ガ特殊状態ニアル
ト云フコトハ讀會が認メテ委任立法ヲ許シテアル、然ルニ此權限ヲ讀會ニ回収スルコト
ヲ爲サズシテ、獨リ司法權ノミニ付テ内地ト同様ナル法案ヲ布カントスル御精神ハ如何
デアリマスカ、其點ヲ伺ヒマス

○松田源治君 第一ノ朝鮮ニ何故ニ斯ル法律ヲ施行スル法律案ヲ出サナカッタカ云フ
コトデゴザイマスが、是ハマダ調査が出來テ居ラヌノデアリマス、而シテ是ハ他ノ法案トシ
テ出シテモ少シモ妨げハナイ、此法案ト同シ法案ヲ出シテ、裁判所構成法及辯護士法
ヲ朝鮮ニ施行スル法律案ヲ横田君ガ御望ミナラバ、此通り規定シテ御出シニナレハツレ
デ目的ヲ達スルノミナラズ、本案ヲ出シテ置ケバソレ物スニ付テモ最モ經濟ダラウト考ヘ
マス、第二ノ御質問ハ其爲ニ能ク此二案中ノ一案ヲ御覽ニナランコトヲ希望スル、即チ
委任立法ニ關スル律令權ハ改正ヲ加ヘヤウト思フノデアル、即チ臺灣ニ特別ナル事項デ
ナケレバ立法委任ノ權ヲ與ヘスト云フコトハ、先程説明シタル通りデアリマス、又臺灣ニ
特別ナモノデアッテモ、司法裁判所民事刑事及監獄ニ關スル事件ハ、是ハ委任シナイト
云フ改正案が出テ居ルノデスカラ、此改正案ヲ能ク御覽下サツタラ御分リニナルコトデア
ラウト思ヒマス

○中村啓次郎君 唯今議題ニナシテ居リマスニ案ハ、一括シテ裏ノ裁判所構成法中
改正法律案外一件ト同一委員ニ付託セラレンコトヲ望ミマス

○副議長(關直彦君) 中村君ノ動議ニ御異議ハアリマセヌカ

〔「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○副議長(關直彦君) 御異議がナイト認メマス、依テ右三案ハ裁判所構成法中改正法律案外一件ノ委員ニ付託スルコトニ決定致シマシタ、次ハ日程第十三、酒造税法

中改正法律案、第一讀會ヲ開キマス、提出者二輪市太郎君

第十三 酒造税法中改正法律案(二輪市太郎君外一 第一讀會

名提出)

酒造税法中改正法律案

酒造税法中改正正ス

第八條但書中清酒ニ限りラ「清酒及味淋ニ限り」ニ改ム

附 則

本法ハ大正三年十月一日ヨリ同四年九月三十日ニ至ル酒造年度分造石稅ヨリ之ヲ適用ス

○三輪市太郎君 簡單デアリマスカラ此席カラ申シマス

○副議長(關直彦君) 簡單ナラバ宜シウゴザイマス

○三輪市太郎君 極メテ簡單ニ申シマス、此酒造税法中改正法律案ヲ要スルノ理由ヲ極メテ簡單ニ申シマスガ、第八條但書中ニ「清酒ニ限り」トアルヲ「清酒及味淋ニ限り」ト改メルノデアリマス、其趣意ハ清酒ニハ御承知ノ通り、造石數ヨリ百分ノ二津引ナルモノガ引カレルコトニナシテ居リマス、然ルニ味淋ニ於テモ百分ノ二如キデハアリマセヌ、

實際ハ百分ノ五モ津ガ溜ノデゴザイマス、之ヲ津引ガナイト云フノハドウ云フ譯デアラウカト調べテ見マスルニ、此酒造税ヲ制定サレマシテ即チ明治一十九年ノ頃ニハ、味淋ハ飲料ニ用ヰラレ、又直段ニ於テモ相當ナ清酒ノ平均價格ヨリ高イ直段ヲ維持シテ居リマシタ、又稅率ノ上ニ於テ酒精分ノ二十度二十度ノ差が同様ニシテアリマシタ、ソレガ爲メニ當業者モ辛抱致シテ居リマシクトコロガ、近來ハ諸君モ御承知ノ通り「ベルモット」トカ何トカ種々ノ西洋酒が入ルタメニ、モウ味淋ヲ飲料ニ用ヰルト云フノハ實ニ片田舎ノオ婆サン位ナモノデアッテ、中流以上ニハ決シテヲ飲料ニ用ヰル者がナイト云フ有様アリマス、從ク直段モ其當時ヨリ清酒ト比較シテ漸次味淋ノ直段ガトガリマシテ、今日デハ清酒ノ平均價格ヨリ稍高イ位ノ直段ヲ保テ居リマスガ、併シ津ノ點ニ於テハ清酒ヘ實際ニ百分ノ一位ヨリ溜リマセヌガ、味淋ニ於テハ百分ノ五位溜リマスカラシテ、之ヲ清酒ト同様ニシテモ敢テ不當デハナカラウト思ヒマス、所が是等ノ問題ハ全國ニ瓦ツテ味淋ナルモノ、石數ハ僅ニ二万石位、之ヲ百分ノ一引キマシクトコロガ四百石ニ對スル課稅デアシテ、政府ニ於テモ餘り重キヲ置カレズ、又當業者モイロノく是迄不平ヲ言フテモ何分少數ノ當業者ノ爲メニ、一向ドウモ耳ニ止メラレナカッタノデアリマスガ、併シ不當ト知リツ、之ヲ拠棄シテ置ク譯ニハイカナイカラシテ、茲ニ本案ヲ提出シタ譯デアリマス、ドウカ御賛成アランコトヲ望ミマス

○中村啓次郎君 本案ハ議長指名九名ノ委員ニ付託セラレンコトヲ望ミマス

○副議長(關直彦君) 御異議アリマセヌカ

〔「異議ナシ異議ナシ」ノ聲起ル〕

○副議長(關直彦君) 本案ハ議長指名九名ノ特別委員ニ付託セラレンコトヲ望ミマス

○副議長(關直彦君) 中村君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔「異議ナシ異議ナシ」ノ聲起ル〕

○副議長(關直彦君) 本案ハ議長指名九名ノ委員ニ付託スルコトニ決定致シマス、日程第十五、醫師法中改正法律案ノ第一讀會ヲ開キマス、提

出者福井三郎君
不當ト知リツ、之ヲ拠棄シテ置ク譯ニハイカナイカラシテ、茲ニ本案ヲ提出シタ譯デアリマス、ドウカ御賛成アランコトヲ望ミマス

○中村啓次郎君 本案ハ議長指名九名ノ委員ニ付託セラレンコトヲ望ミマス

○副議長(關直彦君) 御異議アリマセヌカ

〔「異議ナシ異議ナシ」ノ聲起ル〕

○副議長(關直彦君) 御異議ナイト認メマス、仍テ本案ハ議長指名九名ノ委員ニ付託スルコトニ決定致シマス、次ハ日程第十四、朝鮮產ノ牛革竝其ノ革製品ニ對シ移入稅免除ニ關スル法律案(小出五郎君外二名提出)

朝鮮產ノ牛革竝其ノ革製品ニ對シ移入稅免除ニ關スル法律案

第十四 朝鮮產ノ牛革竝其ノ革製品ニ對シ移入稅免除ニ關スル法律案(小出五郎君外二名提出)

朝鮮產ノ牛革竝其ノ革製品ニ對シ移入稅免除ニ關スル法律案

附 則

本法ハ大正三年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

○白川友一君 小出君ニ代シテ本員カラ極ク簡單デアルカラ自席デ……

○副議長(關直彦君) 簡單ナラ宜シウゴザイマス

○白川友一君 故ニ提案シテアリマスノハ、朝鮮產ノ牛革竝其ノ革製品ニ對シ移入稅免除ニ關スル法律案テゴザイマス、其要旨ハ朝鮮產ノ牛革竝其ノ革製品ニハ移入稅ヲ課セズ、附則ニ參リマシテ、本法ハ大正三年七月一日ヨリ之ヲ施行スルト云フノガ趣意テアリマス、尙簡單ニ其理由ヲ述ベマス、近來朝鮮產ノ牛革竝其ノ革製品ハ漸次產額ヲ増加シマシテ、今ヤ其產額ハ百万圓ヲ超ヘテ、製產夥多ノタメ大ニ當業者ハ困難ヲシテ居ルノデアリマス、之ヲ内地ニ移入センカ、牛革ニ付テハ每百斤ニ付十五圓二十錢、革製品ニ付テハ每百斤ニ付二十七圓二十錢ノ移入稅ヲ課セラル、ニ依リマシテ、引合ハナイノデアリマス、而シテ内地ニ於ケル需用ハ年々歲々益々多クナリツ、アリマシテ、農商務省ノ統計表ニ依テ見マスルト、明治四十年カラ四十四年ニ至ル五箇年間ノ内地ノ製造額ハ次第ニ減少シツ、アルノデアリマス、而シテ外國カラ輸入シテ居リマストコロノ牛革ハ、百十四萬斤カラ二百五十萬斤ノ多額ヲ輸入シテ居ルノデアリマス、現時内地ニ於ケル革製品ノ價格ハ毎百斤ニ付キマシテ八十五圓前後ノ高價ヲ保ツテ居リマス、故ニ此移入稅ヲ免除致シマシテ、朝鮮ニ於ケル牛革及革製品業者ヲ救ヒマシテ、又一面ニ於テハ内地ノ需用者ノ利益ヲ謀リタリト云ノガ、本案ヲ提出シタ理由テアリマス、ドウカ御賛成ヲ願ヒマス

○副議長(關直彦君) 質問アリマセヌカ

○中村啓次郎君 本案ハ議長指名九名ノ特別委員ニ付託セラレンコトヲ望ミマス

○副議長(關直彦君) 中村君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔「異議ナシ異議ナシ」ノ聲起ル〕

○副議長(關直彦君) 本案ハ議長指名九名ノ委員ニ付託スルコトニ決定致シマス、日程第十五、醫師法中改正法律案ノ第一讀會ヲ開キマス、提

出者福井三郎君

第十五 醫師法中改正法律案(福井三郎君外二名提出)

醫師法中改正法律案

附 則

第十三條第三項但書及第四項ヲ削ル

○福井三郎君 簡單デアリマスカラ此處ニ御許シヲ願ヒマス
○副議長(關直彦君) 簡單ナラバ宜シウゴザイマズ

〔福井三郎君登壇〕

○福井三郎君 是ハ登壇ヲシテ説明ヲスル 程長イコトヲ言フ 必要ハナイノデアリマス、
明治三十九年ニ現行醫師法ヲ改正シテ、域外往診治療ヲ妨げズト規定セラレタ、限地
醫ノ地域ヲ撤廢シテシマシテ、普通醫者ト同ジャウニシタイト云フ 意見ナノデアリマス、ソ
レデドウ云フ 風ニシタラバサウナルカト申セバ、醫師法ノ第十二條ノ第三項但書及第四
項ヲ削リマシタナラバ、是ガサウナルノデアリマス、折角登壇致シマシタカラシテ、少シ理由
ヲ述ベテ置キマスガ、此三十九年ノ改正ノ時分ニハ、限地醫ノ地域ヲ取シテ普通ノ醫者
ニシヤウト云フ 議論モアツノデアリマス、然ルニソレヲ反對シタ方ノ意見ハドウ云フ 意見デ
アタカト云フト、限地醫ト云フモノハ大抵寒村僻地ノ醫者ノ無イヤウナ所ニ許サレテアル
ノデアル、ソレヲ東京ノ眞中ニ出テ來ルト云フヤウナコトニテ、立派ナ醫者が迷惑ヲスル、
斯ウ云フコトナドガ、イロイロ反對ノ理由モアリマシタガ、ソレ等が重ナル反對ノ理由デアッ
タヤウデアリマス、其不道理ナコトハ其時モ今モ變リハナイノデアリマス、既ニ醫者ト云フ
コトヲ許シテアル以上ハ、地域ヲ限シテ其地域内ニ於テハソレガ醫術ノ效ガアシテ、地域ヲ
越ヘテシマッタラ醫術が消滅スルト云フ譯モナイ譯、人間ニ術ヲ許シテアルカラ、川ヨリ手
前ニ於テハ醫者ノ能力ガアルガ、橋ヲ一ツ渡シテ川ヲ越ヘタラ醫者ノ能力ガ無クナルト
云フ道理ガナイ、故ニ道理ノ上カラ許シテアル以上ハ、他ニ地域ヲ限定スル必要ハナイ、又何
處ヘ其醫者が出テ來テ見タコロガ、ソレカラ先キハ優勝劣敗テ、實物勝負ノデアル、北
海道ノ山ノ奥ニ地ヲ限ラテ開業シテ居ル醫者が、此地域ヲ撤廢サレタル結果トシテ東
京ニ出テ開業シタコロガ一向向好グナイ、若シ東京ヲ流行レバ 流行シテモ一向差支ナニ、
流行ラナカラタナラバ當人が諦メルマテノ話ダ、法律ノ上カラソレガ東京ニ流行ラレテ下手
ナ治療ヲサレテハ困ルト云フコトヲ心配スルニハ及バヌ、人間ノ生命ノ大切ナルコトハ誰モ
知テ居ルカラ、ソレガ庸醫デアツタナラバ東京ノ眞中ニ出テ來タ上デ治療ヲヤルト云フ
テモ、治療代ヲ醫者ノ方カラ出シテヤルト云シテモ、其處ニ行シテ治療ヲ受ケル者ハナイ、
縦シ之ヲ妨ゲテ法ヲ以テ地域ヲ限シテ、北海道ノ山奥ニ追込シテ置イテモ、是が名醫デ
アツタナラバ東京カラデモ北海道ノ山奥ニ尋ねテ行シテ治療ヲ受ケルノデアリマス、故ニ斯
ノ如キ實物ガ主タルモノハ優勝劣敗ニ任シテ置ケバ宜イノデアリマス、不道理ナル法律ヲ以
テ之ヲ限定シテ置クト云フコトハ甚ダ宜シクナイト思ヒマス、寧ロスノ如キモノハ舊時代
ノ遺物デアルカラ、オ前ハ許サヌ認メナイト云フナラ分シテ居ル、其既得ノ權利ヲ奪シテ
差止メテ差支ナイト云フナラ無論分シテ居リマスガ、既得ノ權利デアルカラ奪フコトハ出
來スト云フコトヲ認メテ置キナガラ、地域ヲ限シテ認メテ置カナケレバナラヌト云フ必要ハ
ナイ道理デアラウト思フ、故ニ不道理ナル此規定ニ對シテ改正ヲ加ヘヤウト云フノテ、改
正ヲ加ヘルノハ十二條ノ第二項但書第四項ヲ削レバ道理ニ適ウタル法律トナルト云フ
ノデゴザイマシテ、ソレア益スル所モ多イシ、又法トシテノ缺點モ無クナルノデアリマスカラ、
茲ニ此改正案ヲ提出シタル次第アリマス、何卒御贊成アランコトヲ希望致シマス

○中村啓次郎君 本案ハ議長指名九名ノ特別委員ニ付託セラシエンコトヲ望ミマス
〔「異議ナシ異議ナシ」ノ聲起ル〕

○副議長(關直彦君) 中村君ノ動議ニ御異議ガナイト認メマス、依テ議長指名九名
ノ委員ニ付託スルコトニ決定致シマシタ
〔「贊成々々」ノ聲起ル〕

○中村啓次郎君 此場合日程ヲ變更シ 取引所法中改正法律案外一件ノ第一讀
會ヲ開キ、委員長報告ヲ議題トセラレシコトヲ望ミマス

○副議長(關直彦君) 御異議ガナイト認メマス、依テ日程ハ變更サレマシタ、就テハ
取引所法中改正法律案及取引所稅法改正法律案、此二案ヲ一括シテ議題トシ、第一
讀會ノ續ラ開キマス、委員長(鵜澤總明君)

〔「贊成々々」ノ聲起ル〕

○副議長(關直彦君) 御異議ガナイト認メマス、依テ日程ハ變更サレマシタ、就テハ
取引所法中改正法律案及取引所稅法改正法律案、此二案ヲ一括シテ議題トシ、第一
讀會ノ續ラ開キマス、委員長(鵜澤總明君)

〔「贊成々々」ノ聲起ル〕

○法學博士鵜澤總明君登壇
取引所法中改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長)
取引所稅法改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長)

○法學博士鵜澤總明君 取引所法中改正法律案、並ニ取引所稅法改正法律案
ノ委員會ノ經過及結果ヲ報告致シマス、先ツ取引所法中改正法律案ニ付テ大體ノ
經過ヲ申シマスト、本案ニ付テ委員會ヲ開キマシタコトが前後五回ニ亘シテ居リマス、而
シテ此改正案ハ全部二十四箇條ヨリナツテ居ルノデアリマス、ケレドモ取引所ノ改善或
ハ仲買入ノ向上ト云フヤウナコトヲ目的ト致シテ居ル案ナルが故ニ、各委員ノ間ニ於テ
種々ナル質問モ出テ、政府委員ノ十分ナル答辯モアリマシテ 圖ラズモ委員會ハ長引イ
タヤウナ譯デアリマス、是ト同時ニ取引所稅法改正案モ討議ヲ致シタノデアリマスガ、是
ニ付テハ割合ニ質問モ少ナインコトアリマシタ、先ツ取引所法中改正案ノ大體ニ付テハ、
是ハ農商務大臣並ニ政府委員カラ本會ニ於テモ亦委員會ニ於テモ十分ニ其趣意ヲ述
ベアリマス、又委員ノ議論致シマシタ所、質問致シマシタ所ニ付テハ、速記録ニ載シテ
居リマスカラ是ニ付テハ 報告ヲ省キマス、先ツ委員會ハ大體ニ於テ此度ノ改正案ニ付テハ、
テハ之ヲ以テ完全ニ目的ヲ達スルコトヲ得ルモノデアルトハ認メルコトが出來ヌケレドモ、
併ナガラ大體ニ於テハ是認スベキモノデアル、斯ウ云フコトニナツテ居リマス、從テ修正ノ
箇條ハ餘り澤山アリマセヌ、此改正案ハ性質トシテハ取締リノ規定ニ屬シテ居ルノデア
リマスカラシテ、修正ノ箇條ニ於テモ同ジク取締リニ關スル所ノ議論ニ依リマシテ修正ガ
成シタノデアリマス、先ツ修正ノ點ヲ申シマスト第十五條ノ三ノ第四項ニ於テ「前三項ノ
ナイ道徳ニアラウト思フ、故ニ不道理ナル此規定ニ對シテ改正ヲ加ヘヤウト云フノテ、改
正ヲ加ヘルノハ十二條ノ第二項但書第四項ヲ削レバ道理ニ適ウタル法律トナルト云フ
ノデゴザイマシテ、ソレア益スル所モ多イシ、又法トシテノ缺點モ無クナルノデアリマスカラ、
茲ニ此改正案ヲ提出シタル次第アリマス、何卒御贊成アランコトヲ希望致シマス

「前項ノ規定ニ違反シタル仲買人ハ取引所之ヲ除名スヘシ」トアリマス點ガ、是が非常ニ議論ニナリマシタ、結局委員會ニ於テハ「前條ノ規定ニ違反シタル仲買人ハ之ニ三箇月以上ノ營業停止ヲ命シ又ハ」——チヨット其前ニ一ヶ落シマシタ、「前項ノ規定ニ違背シタル仲買人ハ取引所之ニ三箇月以上ノ營業停止ヲ命シ、又ハ之ヲ除名スヘシ」ト云

「コトニ修正致シタノデアリマス、ソレカラニ十六條ノ二ニ「取引所外ニ於テハ」ト云

「〔異議ナシ異議ナシ〕ノ聲起ル」

○副議長(關直彦君) 御異議ハナイト認メマス、本案ハ第二讀會ヲ開クコトニ決シマ

シタ

○中村啓次郎君 直チニ第一讀會ヲ開カレンコトヲ望ミマス
○副議長(關直彦君) 中村君ノ動議ニ御異議ハアリマセヌカ
「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ
議題ニ供シマス

取引所法中改正法律案

第一讀會(確定議)
○村田虎次郎君 私ハ委員會ニ於キマシテ第十一條ノ四ノ修正動議ヲ——渡邊修君ノ動議ニ賛成致シマシタ、不幸ニシテ委員會ニ於キマシテハ原案ノ通り決セラレマシタ、其事ニ付キマシテハ此取締ノ上ニ於キマシテ重大ノ關係アル事柄デアルト確信ヲ致シマス、故ニ吾々ハ第十一條ノ四「但シ仲買人農商務大臣ノ認可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラス」此但書ヲ削除シタイ、而シテ其但書ヲ削除致シマシテ第十一ノ四ノ法文中「第二項但書ノ場合ヲ除クノ外」ト云フ字ヲ削除シタイト云フ 意見デゴザイマス、其理由ハ既ニ時間モ切迫シテ居リマスカラ別ニ申シマセヌ、併ナガラ今日ノ場合モ所ニ依リマシテハ非常ニ弊害デアリマス、然ルニ當局者が是ニ鑑ミナイト云フノハ吾々ハ頗る遺憾ニ思フ、故ニ此條項ヲ取消シタインデ、此動議ヲ提出致シマス

○副議長(關直彦君) チヨット伺ヒマスガ、定規ノ賛成がアリマスカ
〔賛成々々〕ノ聲起ル

○副議長(關直彦君) ドウナリマスカ

○村田虎次郎君 第十一條ノ四仲買人ハノ下「第二項但書ノ場合ヲ除ク外」此十

三字ヲ削除シテ尙同案ノ末項「但シ仲買人農商務大臣ノ認可ヲ受ケタル場合ハ此限シテ、是ハ商法ノ改正ノ際ノ問題トナリマシタ、株式會社ノ重役ノ收賄ヲ罰スルト云フ

ヤウナ點ニ付キマシテ、此議院ニモ現ハレマシタガ、是ハ商法改正ノ當時ハ否決ニナッタ

ノデアリマシタガ、取引所ニ於キマシテハ取引所ノ役員デアルトカ、或ハ此取引所ニ於ケル受渡シ物件ノ格付ヲ爲スト云フヤウナ者ハ、是ハ誠ニ大事ナ役員デアルカラシテ、恰モ官吏公吏ニ於ケルガ如ク、賄賂ヲ取ツテ間違フタコトヲシテハナラナイト云フヤウナトヨカラシテ、茲ニ此收賄ノ規定ト云フモノハ明カリ設ケラレテ居ルノアル、是ガ此特別

法ニ於テ官吏公吏以外ノ身分ノ者ニ對スル收賄ヲ罰スル法律ノ是が始メグラウト思フ

ノデアリマス、以上が此取引所法中改正案ノ修正、ソレカラ取引所稅法改正法律案ニ付キマシテハ、是モイロく質問モアリマセヌカラ本案ニ讀會ヲ開クヤ否ヤニ付テ採

修正案モ出マシタガ、委員會ハ種々討議ノ結果ト致シマシテ全部原案賛成ト云フコトニ決定終了ヲ致シタ次第アリマス、此段御報告ニ及ビマス(拍手起ル)

○副議長(關直彦君) 別ニ他ニ御異議ガアリマセヌケレバ採決ヲ致シマス、村田君ノ修正說ニ付テ決ヲ採リマス、唯今御聽キノ通リテアリマス、村田君ノ修正ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ願ヒマス

起立者 少數

○副議長(關直彦君) 少數ニアリマス、本案委員長報告ニ御異議ハアリマセヌカ
〔異議ナシ異議ナシ〕ノ聲起ル

○副議長(關直彦君) 兩案共ニ讀會ヲ省略シ委員長報告通り可決セラレンコトヲ望ミマス

○副議長(關直彦君) 兩案共ニ讀會ヲ省略シ委員長報告通り可決スルコトニ御異

○副議長(關直彦君) 御異議ハナイト認メマス、仍テ委員長報告通り可決確定致シマシタ(拍手起立) 次ハ日程第十六、高層氣象觀測所設置ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス——根本正君

第十六 高層氣象觀測所設置ニ關スル建議案(根本正君外一 名提出)

高層氣象觀測所設置ニ關スル建議案

(高層氣象觀測所設置ニ關スル建議案)

我國中央氣象臺及地方測候所ヨリ發スル天氣豫報及暴風警報ハ地上ニ存スル各地ノ氣象觀測ニ依テ之ヲ豫知スルニアルモ近年ノ研究ニ依レハ高低氣壓ハ大氣ノ高層ニ其ノ動源ヲ有スルモノニシテ其ノ進行及盛衰ハ高層ノ溫度、濕度等ニ依リテ定マルモノナルコトハ疑ナシ故ニ單ニ地上ノ觀測ノミニ依頼セス高層ノ氣象ヲ觀測スルヲ得ハ暴風雨ノ發生モ其ノ以前ニ於テ之カ兆候ヲ認メ得ヘク從テ豫報警報ノ機ヲ逸シ又ハ的中ヲ誤ルカ如キコト少キニ至ルヘシ依リテ政府ハ速ニ高層氣象觀測所ヲ設置セラレムコトヲ望ム

右建議ス

(根本正君登壇)

(拍手起立)

○根本正君 高層氣象觀測所設置ニ關スル建議案ノ理由ヲ申上ゲマス、本案ハ第二十六回、第二十七回、第二十八回、第二十九回、第三十回議會ニ於キマシテ通過サレテ居ルトコロノ建議デアリマス、御承知ノ通リ本邦ハ四面海ヲ以テ國マレテ居リマシテ、明治四十一年二月ニ内地ノ如キハ各縣ニ於テ非常ナル損害ヲ受ケタ譯テアリマス、即チ我が日本國ニ於テ一箇年ノ漁獲ト云フモハ八千五百五十万圓以上アリマス、又是ニ從事スルトコロノ船ハ四十三万有餘アル、又此被害ノタメニ破損スルモノガ一箇年平均九百五十艘アリマス、又此死人ト云フモノモ千六七百人宛アツテ、一艘ヲ取調べテ見マスルト云フト其費用が凡ソ五百圓ニ付テ毎年五十圓死人損害ヲ來スノデアリマスル、此天災ヲ人爲ヲ以テ救フコトガ出來ルノハ外ニハアリマセス、此高層氣象觀測デアリマス、我日本國ノ氣象ノ行ハタナハ明治十五年以來デアリマシテ、今日此氣象臺ト云フモハアリマスルガ、僅ニ此地上ニ觀測スル、故ニ僅ニ向フ八時間、長クモ二十四時間ヨリ以上ノ氣象ヲ觀測スルコトハ出來ナイ、併ナガラ此高層氣象觀測ト云フモノハ即チ亞米利加ニ於テ數年前ニ發明サレテ、今日獨逸ノ如キハ十四箇所ニ行ハレテアルノデアリマスル、此高層氣象ヲ以テ觀測シマスレバ、向フ四十時間ノコトハ明カニ分ルノデアル、併ナガラ今日マテノ此觀測ハ幾ド井ノ中ノ蛙ト云フヤウナ譯テ、誠ニ小サイ所バカリ見テ居ルノデアル、然ルニ此高層氣象觀測ヲ用ヰマスルト、空中二里以上モ氣球又ハ布ヲ以テ製シタ風ニ機械ヲ入レテ、其機械ト云フハ凡ソ一尺四方位アツテ、其觀測ノ機械トシテハ、時計或ハ寒暖計、風力機、濕度計、風雨計等が仕掛ケラレテアツテ、自由自在ニ自働的ノ機械デアリマス、是ハ一ノ機械モダ日本ニ於テ製スルコトが出來マセヌケレドモ、歐羅巴ニ於テハ僅ニ五百圓出セバ是が出來ルノデアル、其他經常費ヲ入レマシ

テ、僅カ數万圓ノ金ヲ以テ觀測ヲ實行スルコトが出來ルノアリマス、故ニ此氣象觀測ガ出來マスレバ、即チ漁業或ハ其他ノ風害ト云フ所謂天災ナルモノハ、人爲ヲ以テ防ケコトが出來ルノデアリマス、詳シク歐羅巴ノ調査モ出來テ居リマスケレドモ、今日ハ時間モ既ニ切迫シテ居リマスカラ、是ハ讀長ノ許可ヲ得テ速記ニ移シテ諸君ニ御参考ニ供シリマスカラ、願クバ即決ヲ以テ可決アランコトヲ希望シマス

(參照)

歐米ニ於ケル高層氣象觀測ノ狀況

天氣圖ヲ製シテ天氣ヲ豫知スルノ方法ヲ案出シテヨリ以來既ニ百有餘年ヲ經過、其間著ルシク氣象學ノ進歩ヲ來タセント雖モ、未タ根本的ニ氣象ノ法則ヲ闡明スルニ至ラス、是レ主トシテ觀測材料ノ缺乏ニ基キ大氣ノ真狀ヲ知悉スル能ハサルニヨル、顧フニ大氣ノ彌漫スル所宏大無邊、而シテ其間ニ於ケル現象ヲ知悉セント欲ス固ヨリ容易ノ業ニアラス、然ルニ從來ノ氣象ノ觀測タル僅ニ地上ニ於ケルモノヲ行フニ止マリ以テ無限ノ空間ニ於ケル大氣ノ法則ヲ求メント欲ス是レ恰モ井底ノ蛙見ノ如キノミ、是ニ於テカ近時高層ニ於ケル氣象觀測ノ必要ヲ説ク者相尋イア起リ期年ナラシテ歐米各國競フテ之カ設備ヲナサルモノナキニ至レリ、高層氣象觀測創始以來、日未タ深カラスト雖モ、尙ホ昔時夢想タモスル能ハサリシ新現象ヲ探り得タルコトアリ益、氣象ノ理論ヲ明ニシ隨テ其應用タル天氣豫知法ノ進歩ヲ來タシ或ハ近時航空術ノ發達ニ伴フテ益、高層氣象ノ必要ヲ促スニ至レリ、獨國ニ於テハリンデルベルグ、グロース、ボルステル、ブリードリッヒス、ハーフエンノニ高層氣象觀測所ヲ有シ其他全國ニ亘リテ十四箇所ノ簡易高層氣象觀測所ヲ有シ此等觀測ノ材料ハ日々電報ニヨリアリンデンベルグニ集リ以テ天氣豫知ノ料ニ供セラレツ、アリ、佛ノトラップビルトン、ヒル、グロツップ露ノハウロースク、クチノ米ノブリュー、ヒル、マウント、ウエザー等ヲ始メトシ歐米各國到ル處皆高層氣象ノ觀測ヲ行ハサルモノナシ、或ハ北緯八十度ノ沢塞ノ地タルスピツベルゲンニ或ハ酷熱ノ地タルアフリカ内地ニ人ヲ派シテ上層ノ氣象ヲ觀測セシメ若クハ特ニ汽船ヲ送リテ遠ク洋上ニ浮ハシメ以テ其高層氣象ノ狀態ヲ探ラシムルコトアリ、近クハ我東洋ニアツテハ英領印度ニ於テ、蘭領爪哇ニ於テモ此設備ヲ有シ太平洋上ノ一孤島獨領サモアニ於テスラ既ニ然リ、近時氣象ノ研究ハニ高層ノ探究ニ集中シ氣象臺トシテ高層氣象觀測ノ設備ナキハ全ク缺陷タルノ觀アルニ至レリ、東洋殊ニ日本ニ於テ高層氣象觀測所設立ノ必要タルコトハ裏ニ高層氣象萬國會議ノ決議ニヨリ既ニ世界各國亦認ムル所ニシテ其決議ハ既ニ數年前ニ本邦當局者ニ達シタル所ナリ、然ルニ本邦ニ於テハ未タ高層氣象ニ關シテ何等ノ設備ヲ有セス隨ア高層氣象ノ萬國會議ニモ委員ヲ派スルニ至ラス此萬國會議ハ毎三年ニ開會スルモノニシテ昨年澳國ウエーン市ニ於テ其第七回ヲ開ケリ文明國ニシテ其委員ヲ有セサルモノ殆ント無シ、獨リ日本ハ之ニ列セス、甚タ遺憾ノコトナリ、日本ニ於テ高層氣象觀測所ヲ有セサルハ其レニヨリテ起ル民福ヲ受クル能ハサルノミナラス文明國トシテノ一大恥辱ナリ

○中村啓次郎君 本案ハ第一十六、二十七、二十八議會及三十議會ニ於テ通過シタル案ナルヲ以テ、即決可決セントラ望ム

○副議長(關直彦君) 中村君ノ動議ニ御異議アリマセメカ
シタ
「異議ナシ異議ナシ」聲起ル

議事進行ニ關スル緊急動議

○中村啓次郎君 此場合議事進行ニ關スル緊急動議ヲ提出致シマス、會期切迫ニ付日程第十七ヨリ第二十四ニ至ル建議案ハ提出者ノ説明ヲ省略シテ直ニ委員ニ付託ス、即チ日程第十七ハ議長指名ノ九名ノ委員ニ付託ス、日程第十八ハ日程第十五醫師法中改正法律案ノ委員ニ付託ス、日程第十九乃至第二十一ハ各議長指名九名ノ委員ニ付託ス、日程第二十二、第二十三ハ一括シテ議長指名九名ノ委員ニ付託ス、日程第二十四ハ東北六縣田畠地價特別修正法律案外二件ノ委員ニ付託ス、右ノ通り

○副議長(關直彦君) 御異議ガナケレバ本案ハ即決可決、即チ採用スルコトニナリマ

シタ
等事業ノ爲或ハ廣大ナル土地ヲ要シ或ハ其ノ事業ヲ保護スル必要上他ノ工場ノ設置ヲ禁止又ハ制限スル等ノ事例妙カラスノ如キハ事公益上ノ必要ニ基キ復已ムヲ得サル措置ナリト雖時ニ其ノ町村ノ財源ヲ減耗シ民力ノ衰退ヲ來タスコトナキヲ保セ此ノ状態ニシテ永續セムカ町村ハ遂ニ都市ノ爲ニ犠牲トナリ廢滅スルノ外ナシ都市ノ公益ヲ増進スルト同時ニ他ノ町村ノ福利ヲ保護スルヲ要スルハ蓋事理ノ當然ナリトス故ニ都市事業ノ爲ニ不利益ヲ蒙ムル町村ニ對シ其ノ事業ノ存續スル限り救濟ノ方途ヲ得セシムルハ今日ニ於テ適切緊要ナルコトナリト信ス依テ事業ヲ經營セル都市ヲシテ不利ヲ蒙ル町村ニ對シ補償ヲ爲サシムル等ノ制度ヲ制定シ以テ町村保護ノ方法ヲ確立セラレムコトヲ望ム

右建議ス

第二十 小額生命保險官營ニ關スル建議案(黒須龍太郎君提
出)

小額生命保險官營ニ關スル建議案

中等以下ノ社會階級ヲシテ能ク恆產ヲ治メ秩序的生活ヲ營マシメ進テ之カ經濟狀態ヲ改善スルハ貧富ノ懸隔ニ伴フ諸般ノ弊害ヲ除去シ社會組織ノ健全ナル發達ヲ圖ル所以ニシテ現時ノ状態ニ鑑ミ社會改良政策上最緊要ノ事項トナス歐米各國ニ行ハル小額保險ノ制度ハ此ノ目的ヲ達スル上ニ於テ頗ル有效ノ施設タルヲ認ム而シテ之ヲ事業ノ性質ニ照シ本邦目下ノ状況ニ稽フルニ小額生命保險ハ之ヲ國家事業トシテ經營シ民間保險業ノ及ハサル所ヲ補フヲ以テ最時宜ニ適シタルモノト信ス政府ハ宜シク小額生命保險官營ニ關スル調査ヲ遂ケ適當ノ案ヲ具シテ速ニ議會ニ提出スシ
右建議ス

第二十一 四國幹線鐵道豫定線速成ニ關スル建議案(光森徳
君外四名提出)

四國幹線鐵道豫定線速成ニ關スル建議案

一德島縣下池田町ヨリ高知縣下高知市ヲ經テ須崎ニ達スル線路

一香川縣下高松市ヨリ德島縣下小島村ニ達スル線路
右ハ四國鐵道豫定幹線阿讚阿土連絡上重要ニシテ軍事上交通上必要缺クヘカラ
サルモノナルヲ以テ第一十七回、第二十八回議會ニ於テモ之ガ建議ヲ呈出セリ政府
ハ速ニ本線路ノ建設ニ著手セラレムコトヲ望ム

右建議ス

第二十二 長崎港ニ於ケル海陸連絡設備ニ關スル建議案(永見
君外九名提出)

長崎港ニ於ケル海陸連絡設備ニ關スル建議案

都市經營ニ屬スル事業ハ近時著シク發達シ上下水道、發電所、避病院、公園、墓地等ノ如キ益增加スル、趨勢ナリ而シテ是等事業ニ對シ獎勵保護ヲ加フルハ都市公益上最緊要ノ事タルヘキハ素ヨリ言ラ待タス然レトモ他ノ町村ノ區域内ニ於テ是

運河航路ノ衝ニ當リ内外船舶ノ寄航スルモノ妙カラス實ニ帝國ノ關門タリ然ルニ現在ノ狀況ニテハ旅客貨物共ニ海陸ノ連絡設備至ク缺如スルニ依リ政府ハ速ニ之カ設備ニ著手セラレムコトヲ望ム
右建議ス

第二十三 關門海峽連絡鐵道建設ニ關スル建議案(永見寛二君外九名提出)

關門海峽連絡鐵道建設ニ關スル建議案

本鐵道ハ本州ト九州ヲ連絡スルモノニシテ兩州ノ連絡ハ軍事上經濟上一日モ忽諸ニ附スヘカラサル緊急必要ノ線路ナルコトハ多言モ要セス依リテ政府ハ速ニ本鐵道ノ建設ニ著手シ以テ交通ノ利便ト經濟ノ發展ヲ圖ラレムコトヲ望ム
右建議ス

第二十四 埼玉縣下比企郡川島領六箇村田畠地價特別修正ニ關スル建議案(柏谷義二君外七名提出)

埼玉縣下比企郡川島領六箇村田畠地價特別修正ニ關スル建議案

埼玉縣下比企郡川島領ト稱スル出丸、三保谷、小見野、中山、伊草及八ツ保ノ六箇村ハ二流ノ大河川其ノ周圍ヲ繞レル一部落ニシテ改租ノ際種々ノ事情ニ因リテ田畠ノ公定地價ヲ過當ニ查定セラレタルカ爲ニシテ四鄰ノ村落ニ比スルニ甚シク公平ヲ失シ多キハ一倍以上少キモニ三割ノ高率ニ在リ隨テ地租公課ノ負擔奇重ニシテ其ノ收穫ハ以テ其ノ負擔ヲ償フニ足ラス農民ハ一年ハ一年ヨリ困難ニ陥リ加フルニ近年水害頻ニ至リ收穫ノ全部若ハ幾分ヲ失フコト屢次ニシテ其ノ慘狀實ニ見ルニ忍ヒサルモノアリ今ニシテ此ノ如キ不當ノ地價ヲ修正シテ負担ヲ輕減スルニ非スムハ領内六箇村ノ人民ハ遂ニ流離ノ運命ヲ免カレサラムトス依リテ政府ハ速ニ之カ調査ヲ遂ケ適當ノ法案ヲ議會ニ提出セラレムコトヲ望ム
右建議ス

(「贊成々々」ノ聲起ル)

○副議長(關直彦君) 中村君發議ノ通り御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシ」ノ聲起ル)

○副議長(關直彦君) 御異議ガナイト認メマヌニ依テ、中村君ノ動議ノ通り、即チ唯今讀上グラレマンタ通り、各委員ニ付託スルコトニ決定致シマシタ、御詣り致シマス、奥繁三郎君ヨリ兩院協議會委員ノ辭任ノ申出ガアリマシタ、許可シテ御差支アリマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシ」ノ聲起ル)

○副議長(關直彦君) 御異議ガナケレバ許可スルコトニ致シマス、本日ハ是デ散會ヲ致シマス

午後五時四十八分散會